

清須市障害者基本計画、第5期清須市障害福祉計画、
第1期清須市障害児福祉計画策定等に係る実態調査 調査概要
(平成29年11月)

目 次

○ 調査の概要	
1 調査目的	1
2 調査設計	1
3 回収結果	2
4 報告書の見方	2
○ 障害のある方の調査	
1 あなたの年齢・性別・ご家族などについて	3
2 あなたの障がいの状況について	8
3 住まいや暮らしについて	10
4 日中活動や就労について	13
5 障害福祉サービスなどの利用について	16
6 教育について	20
7 暮らしやすさや将来の生活について	21
8 相談相手・情報収集について	24
9 権利擁護・障がい者差別解消について	26
10 災害時の避難などについて	28
○ 事業所調査	
1 新たなサービスの実施について	30
2 運営上の課題や支援	31
3 防災・防犯対策	32
4 障害者虐待防止・差別解消	33

調査の概要

1 調査目的

本調査は、平成 30 年度を初年度とする清須市障害者基本計画、第 5 期障害福祉計画、第 1 期障害児福祉計画を策定するにあたって、障がいのある方（身体・知的・精神、難病）を対象に福祉サービスの利用実態や福祉に関する意識、意向など把握することを目的にアンケート調査を実施しました。

2 調査設計

（1）調査対象者

①障がいのある方の調査

身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・

障害者福祉金受給者・障害福祉サービス利用者

計 2,884 人

②事業所調査

サービス提供事業所 217 事業所

（2）調査期間

平成 29 年 8 月 4 日～8 月 22 日（調査基準日 平成 29 年 8 月 1 日）

（3）抽出方法

①障がいのある方の調査

身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・

障害者福祉金受給者・障害福祉サービス利用者全数

②事業所調査

市内サービス提供事業所全数

（4）調査方法

郵送による配付・回収にて実施しました。

3 回収結果

区分	障がい者	事業所
配布数	2,884	217
回収数	1,461	104
有効	1,427	104
無効	34	0
有効回収率	50.7%	47.9%

*有効回収数は、回収されたが記入のない調査票を除いて集計した数。

4 報告書の見方

- (1) 比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのためパーセントの合計が100%にならないこともあります。
- (2) 回答率(%)は、その質問の回答者数を母数として算出しました。
- (3) 基数となるべき実数は、件数または調査数として掲載しました。比率は、この件数を100%として算出しています。
- (4) 複数回答が可能な質問では、比率算出の基数は回答者数(票数)とし、その項目を選び○印をつけた人が全体からみて何%なのかという見方をしました。そのため、各項目の比率の合計は100%を超える場合もあります。
- (5) 本報告書の表の見出し及び文章中での回答選択肢の表現は、趣旨が変わらない程度に簡略化して掲載している場合があります。
- (6) 「障害者手帳」、「難病認定」、「重複障がい」のいずれにも該当しないものは「その他」としています。

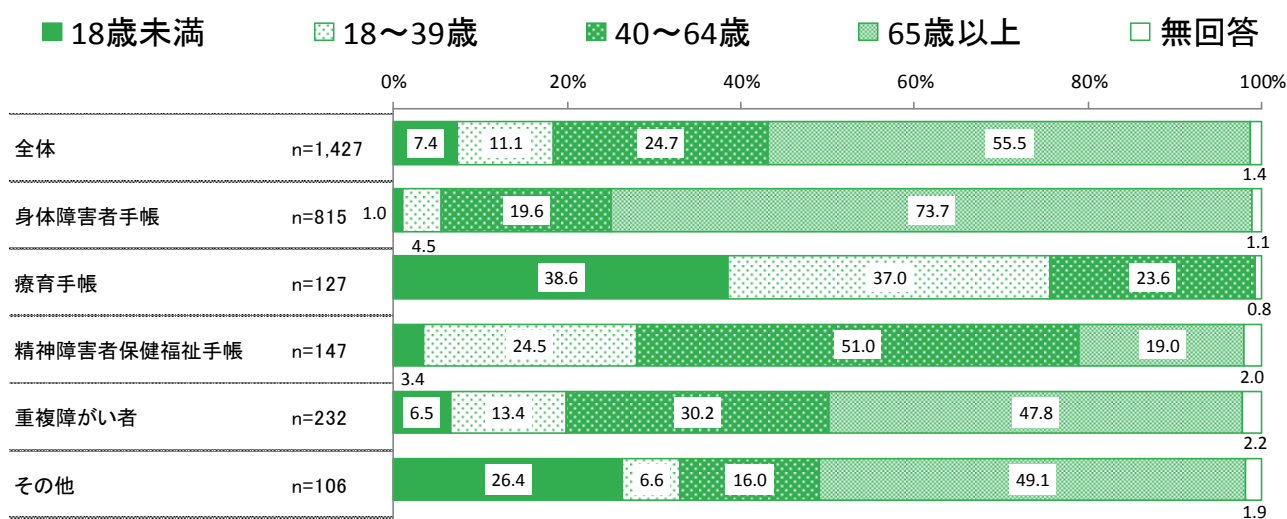
障がいのある方の調査

1 あなたの年齢・性別・ご家族などについて

問2 あなたの年齢をお答えください。(平成29年8月1日現在)

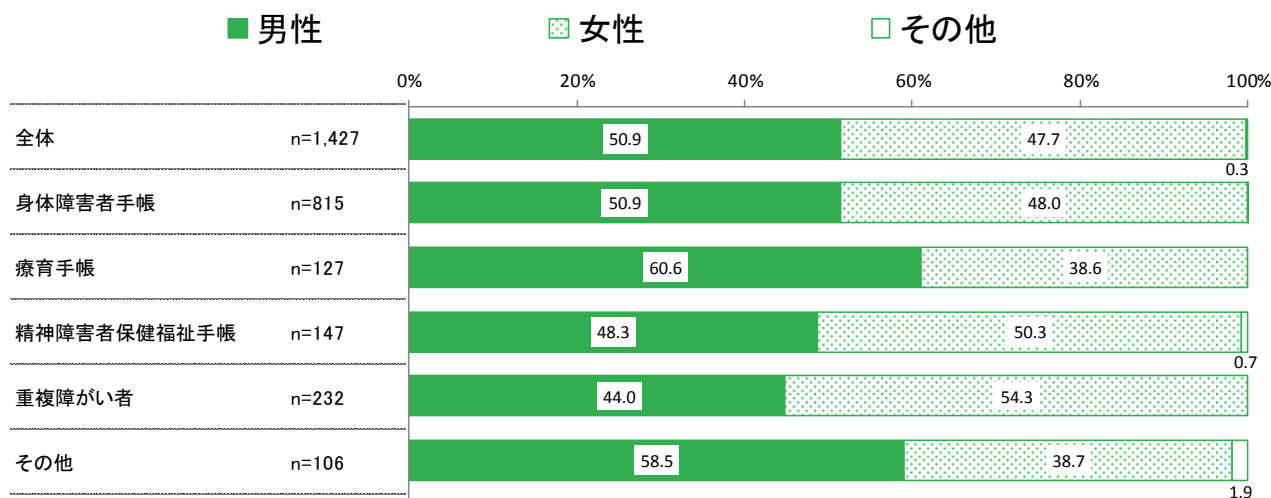
回答者の年齢の内訳は、「65歳以上」が55.5%と最も多く、次いで、「40～64歳」が24.7%、「18～39歳」が11.1%、「18歳未満」が7.4%となっています。

障がい別で見ると、身体障害者手帳では「65歳以上」が約7割を占めています。療育手帳では40歳未満が約8割を占めています。精神障害者保健福祉手帳では18～64歳で約8割を占めています。重複障がい者では「40歳以上」が約8割を占めています。



問3 あなたの性別をお答えください。(〇は1つだけ)

回答者の性別は、「男性」が50.9%、「女性」が47.7%となっています。障がい別で見ると、「療育手帳」で男性の割合が多くなっています。



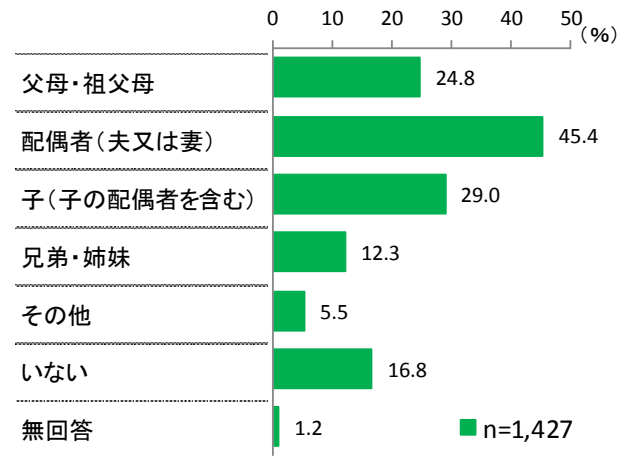
問5 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。

(あてはまるものすべてに○)

一緒に暮らしている人については、「配偶者(夫又は妻)」が45.4%と最も多く、次いで「子(子の配偶者を含む)」が29.0%、「父母・祖父母」が24.8%等となっています。

障がい別でみると、「父母・祖父母」は、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳で多くなっています。

「配偶者(夫又は妻)」は、身体障害者手帳、難病の認定で多くなっています。

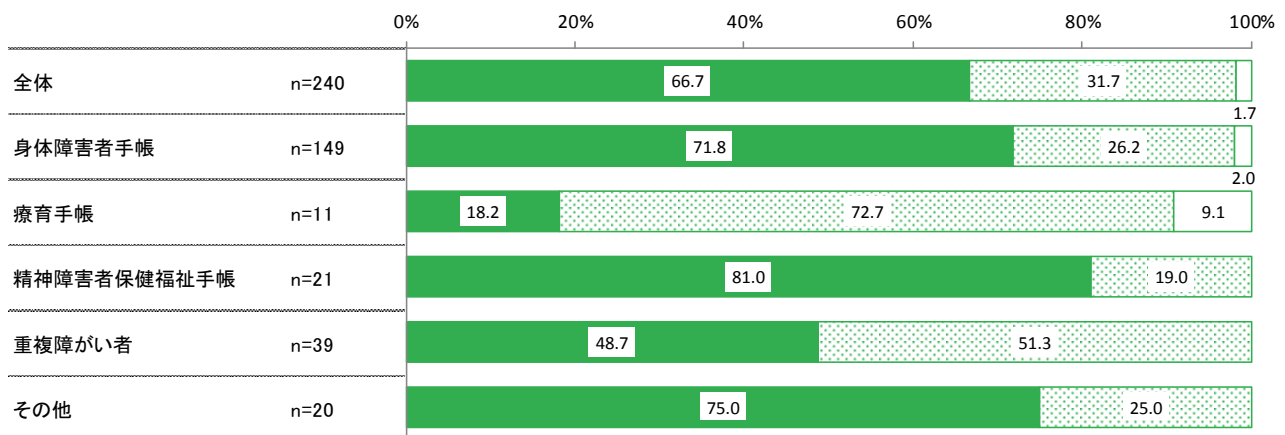


	調査数	問5 一緒に暮らしている人						
		父母・祖父母	配偶者(夫又は妻)	子(子の配偶者を含む)	兄弟・姉妹	その他	いない	無回答
全体	1,427	24.8	45.4	29.0	12.3	5.5	16.8	1.2
身体障害者手帳	815	9.0	57.1	35.8	3.3	6.5	18.3	1.1
療育手帳	127	78.7	7.9	5.5	50.4	4.7	8.7	0.8
精神障害者保健福祉手帳	147	50.3	28.6	23.8	17.0	4.8	14.3	0.0
重複障がい者	232	28.9	41.8	25.4	15.1	4.7	16.8	1.7
その他	106	37.7	32.1	19.8	23.6	0.9	18.9	2.8

一緒に暮らしている人がいない人については、「ひとり暮らしのため」が66.7%と最も多く、次いで「グループホーム、福祉施設等を利用しているため」が31.7%となっています。

障がい別でみると、「ひとり暮らしのため」は身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳で多くなっています。「グループホーム、福祉施設等を利用しているため」は、療育手帳で多くなっています。

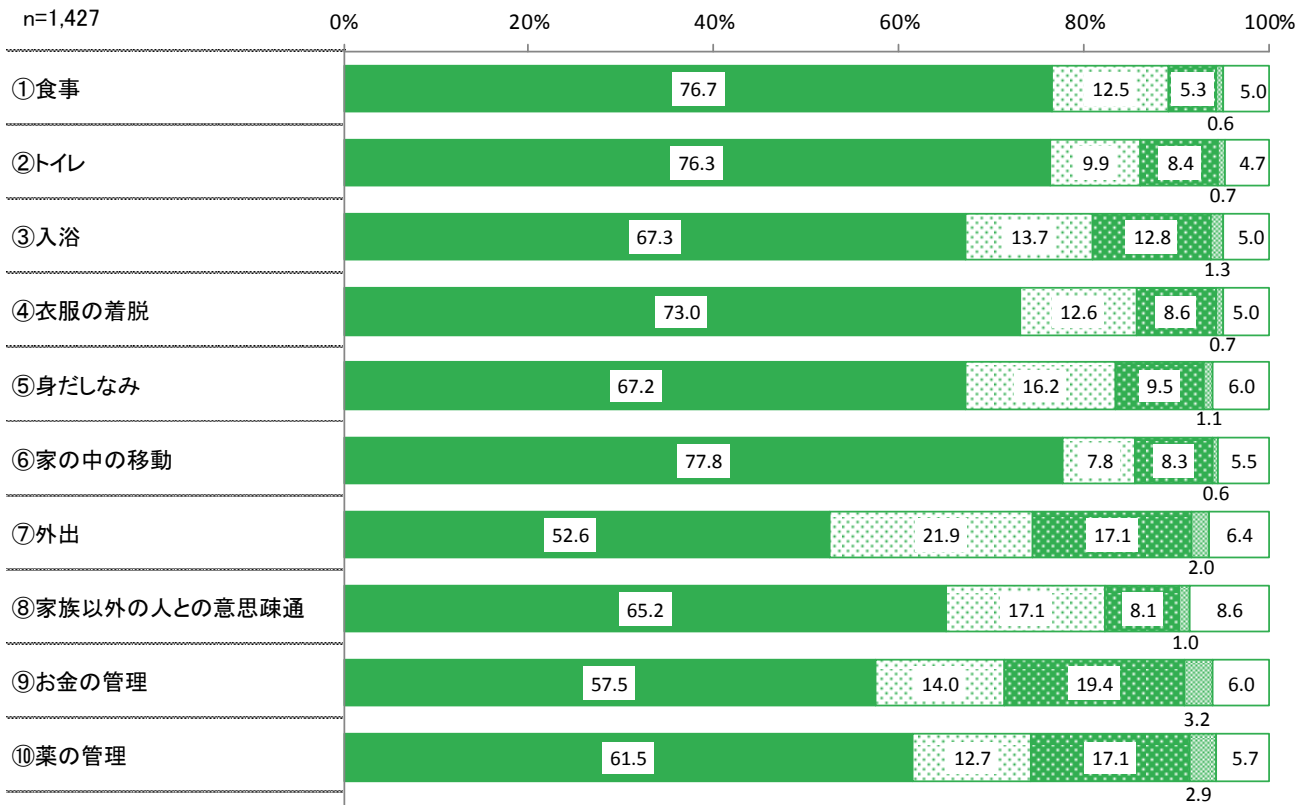
■ ひとり暮らしのため ■ グループホーム、福祉施設等を利用しているため □ 無回答



問7 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩のそれぞれにお答えください。（①から⑩それぞれに0を1つ）

障がい者の日常生活動作の介助の必要性については、「⑦外出」「⑨お金の管理」「⑩薬の管理」などで、介助を必要とする人が多くなっています。

- ひとりでできる
- ひとりでできる年齢になっていない
- 一部介助が必要
- 無回答
- 全部介助が必要



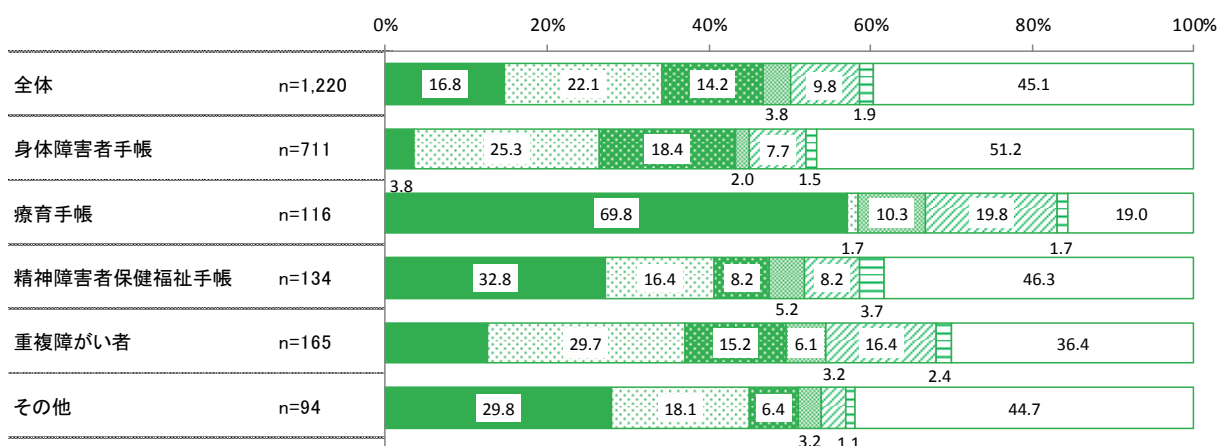
<問 7 で「一部介助が必要」、「全部介助が必要」又は「ひとりでできる年齢になっていない」と答えた方>

問 8 あなたを介助してくれる方は主に誰ですか。(あてはまるすべてのものに○)

家族のなかで主に介助している方については、「配偶者（夫又は妻）」が 22.1%と最も多く、次いで「父母・祖父母」が 16.8%、「子（子の配偶者を含む）」が 14.2%等となっています。

障がい別でみると、身体障害者手帳では「配偶者（夫又は妻）」が 25.3%と最も多くなっています。療育手帳では「父母・祖父母」が 69.8%と最も多くなっています。精神障害者保健福祉手帳では「父母・祖父母」が 32.8%と最も多くなっています。重複障がい者では「配偶者（夫又は妻）」が 29.7%と最も多くなっています。

- 父母・祖父母
- 子(子の配偶者を含む)
- ホームヘルパーや施設等の職員
- 無回答
- 配偶者(夫又は妻)
- 兄弟・姉妹
- その他の人(ボランティア等)



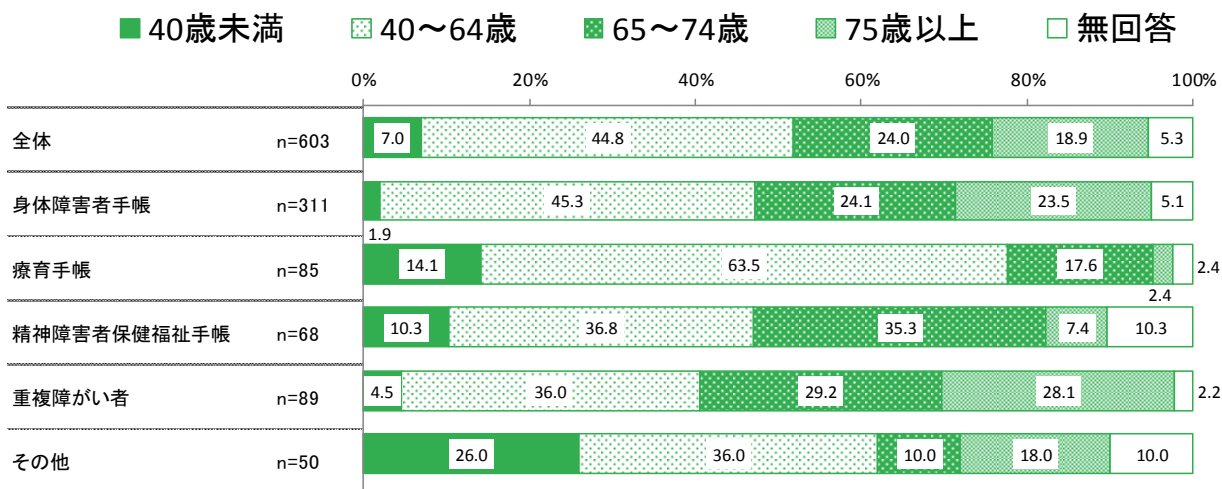
<問8で「1. 父母・祖父母」「2. 配偶者（夫又は妻）」「3. 子（子の配偶者を含む）」「4. 兄弟・姉妹」と答えた方>

問9 あなたの家族の中で、主な介助の中心となっている方の年齢、性別、健康状態、悩みなどをお答えください。

① 年齢

主に介護している方の年齢については、「40～64歳」が44.8%と最も多く、次いで「65～74歳」が24.0%、「75歳以上」が18.9%等となっています。

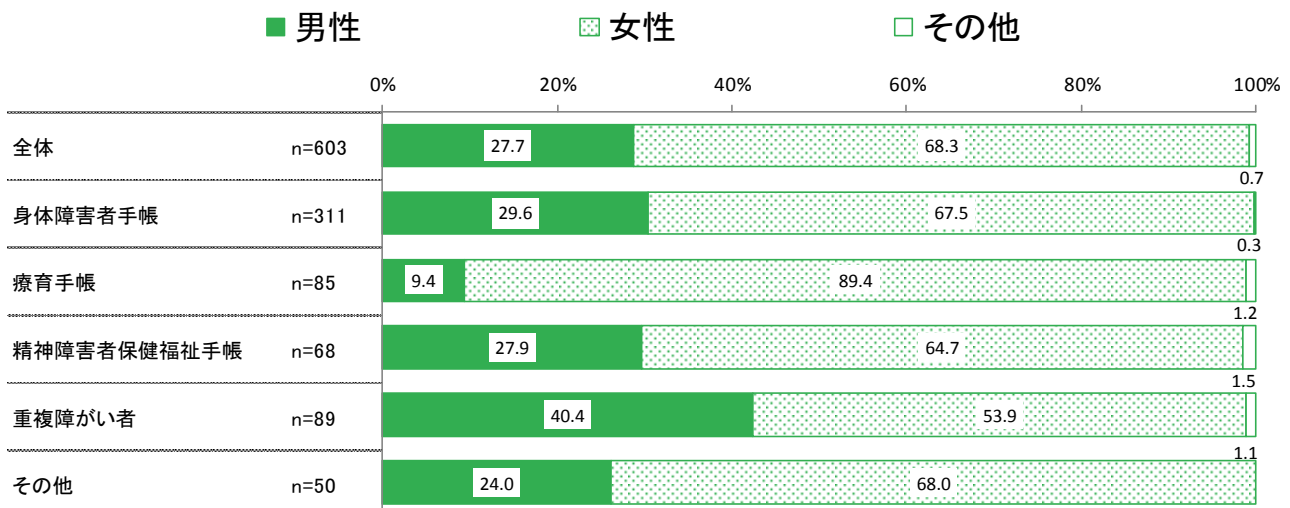
障がい別でみると、身体障害者手帳では全体の傾向とほぼ変わらず。療育手帳では「40～64歳」が63.5%と最も多くなっています。精神障害者保健福祉手帳でも「40～64歳」が36.8%と最も多くなっています。重複障がい者では「40～64歳」が36.0%と最も多くなっています。



② 性別（〇は1つだけ）

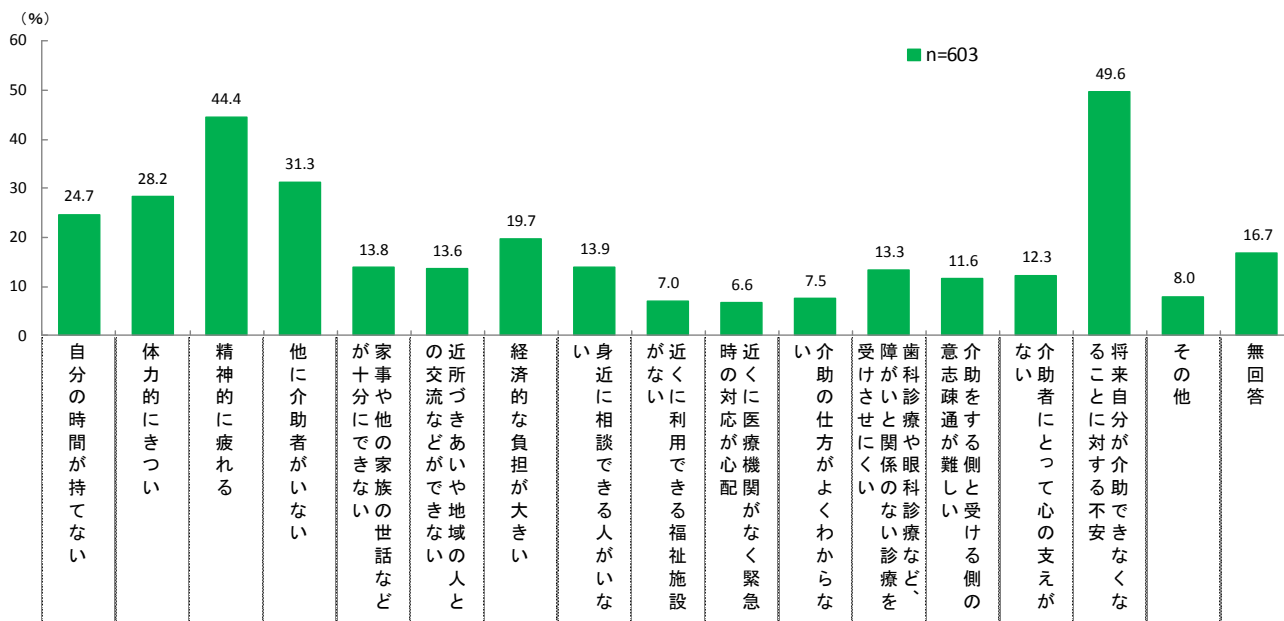
主に介護している方の性別については、「女性」が68.3%、「男性」が27.7%となっています。

障がい別でみると、療育手帳では「女性」が89.4%と多くなっています。



④ 主な介助者の方が介助する上での悩みや問題は何か。
 (あてはまるものすべてに○)

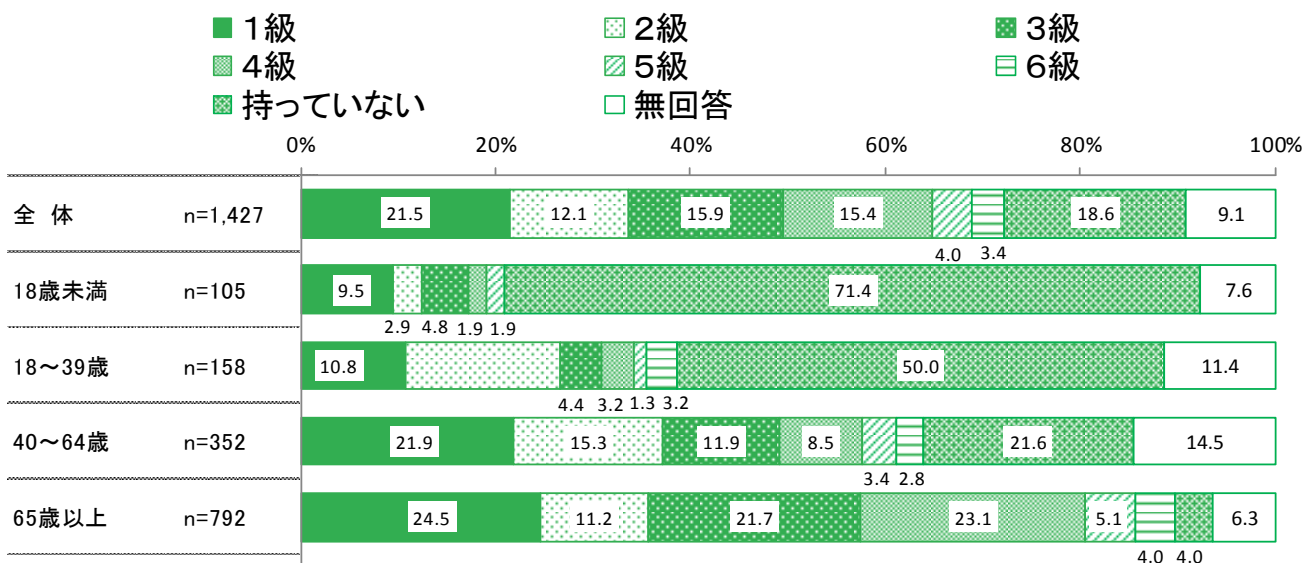
主な介助者の方が介助する上での悩みや問題については、「将来自分が介助できなくなることに対する不安」が49.6%と最も多く、次いで「精神的に疲れる」が44.4%、「他に介助者がいない」が31.3%、「体力的にきつい」が28.2%、「自分の時間が持てない」が24.7%等となっています。



2 あなたの障がいの状況について

問10 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

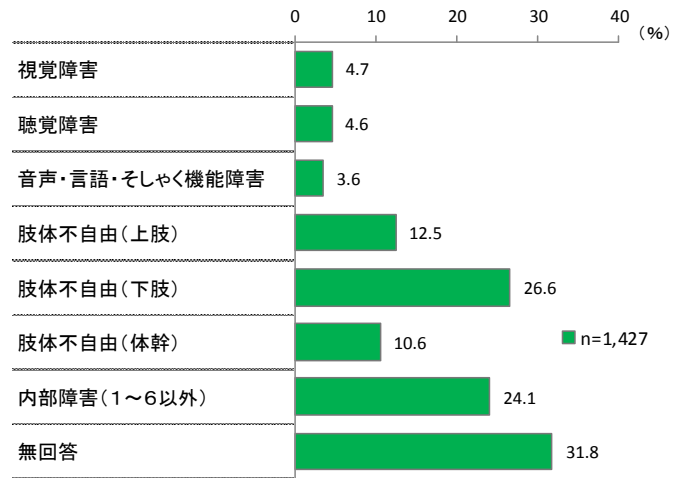
身体障害者手帳の等級については、「1級」が21.5%と最も多く、次いで「3級」が15.9%、「4級」が15.4%となっています。



問11 身体障害者手帳をお持ちの場合、障がいの種類をお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

障がいの種類については「肢体不自由（下肢）」が26.6%と最も多く、次いで「内部障害（1～6以外）」が24.1%「肢体不自由（上肢）」が12.5%、「肢体不自由（体幹）」10.6%等となっています。



年齢別にみると、全体との差が大きいのは40歳以上で「肢体不自由（上肢）」、65歳以上では「肢体不自由（下肢）」、「内部障がい（1～6以外）」となっています。

年齢別

(%)

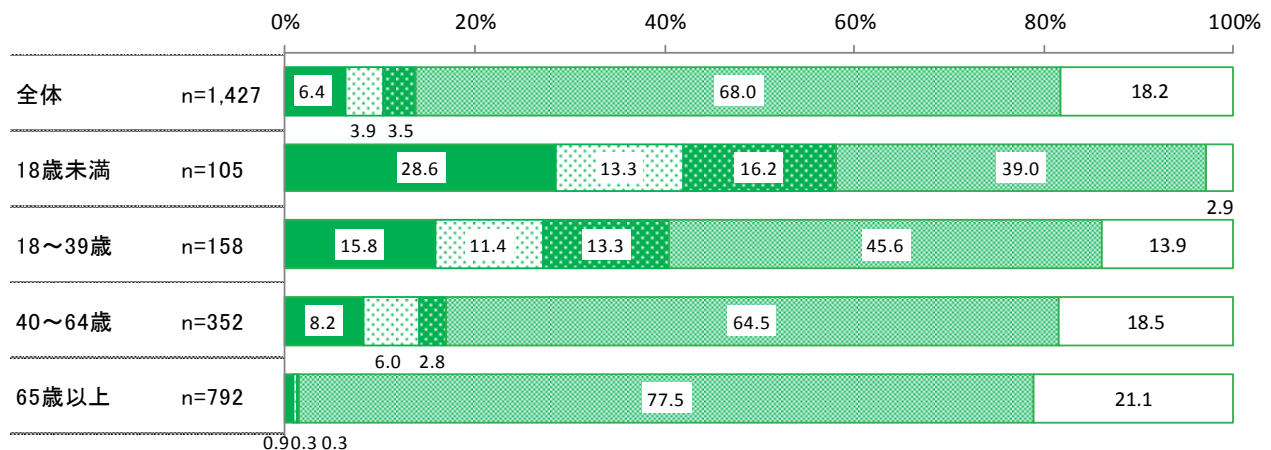
	問11 身体障がい者手帳をお持ちの場合、障がいの種類をお答えください。								
	調査数	視覚障害	聴覚障害	音声・言語・そしやく機能障害	肢体不自由(上肢)	肢体不自由(下肢)	肢体不自由(体幹)	内部障害(1～6以外)	無回答
全体	1,427	4.7	4.6	3.6	12.5	26.6	10.6	24.1	31.8
18歳未満	105	1.9	1.9	0.0	4.8	5.7	10.5	2.9	79.0
18～39歳	158	2.5	3.8	3.8	7.6	8.2	9.5	12.7	63.3
40～64歳	352	4.0	4.8	4.5	14.2	21.9	11.4	18.2	41.5
65歳以上	792	5.8	4.9	3.5	14.0	35.5	10.5	31.7	14.8

問12 あなたは療育手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

療育手帳については、「持っていない」が68.0%と最も多く、次いで「A判定」が6.4%、「B判定」が3.9%、「C判定」が3.5%となっています。

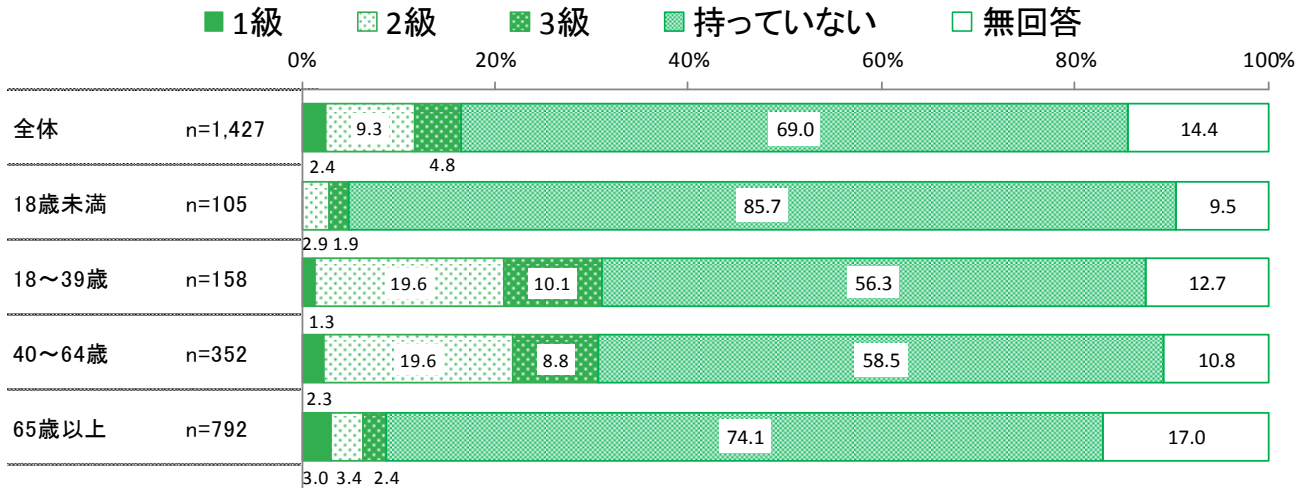
年齢別にみると、18歳未満で「A判定」が28.6%と多くなっています。

■ A判定 ■ B判定 ■ C判定 ■ 持っていない □ 無回答



問13 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(〇は1つだけ)

精神障害者保健福祉手帳については、「持っていない」が69.0%と最も多く、次いで「2級」が9.3%、「3級」が4.8%、「1級」が2.4%となっています。
年齢別にみると、18～64歳で「2級」が19.6%と多くなっています。

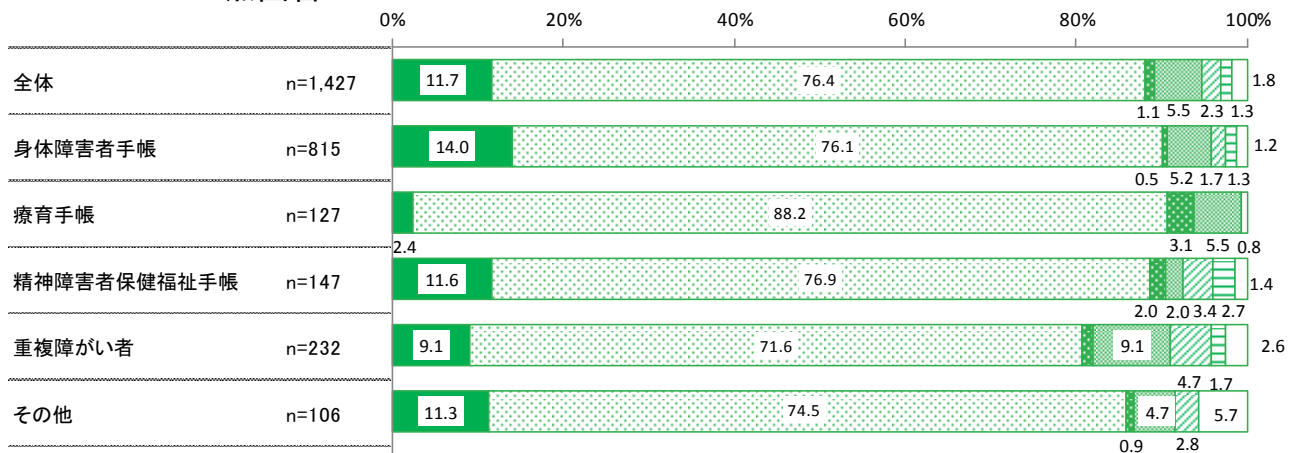


3 住まいや暮らしについて

問20 あなたは現在どのように暮らしていますか。(〇は1つだけ)

現在の暮らしについては、「家族と暮らしている」が76.4%と最も多くなっています。
障がい別でみると、いずれの障がいにおいても「家族と暮らしている」が約7～8割を占めています。

- 一人で暮らしている
- 家族と暮らしている
- グループホームで暮らしている
- 福祉施設(障害者支援施設、高齢者支援施設)で暮らしている
- 病院に入院している
- その他
- 無回答

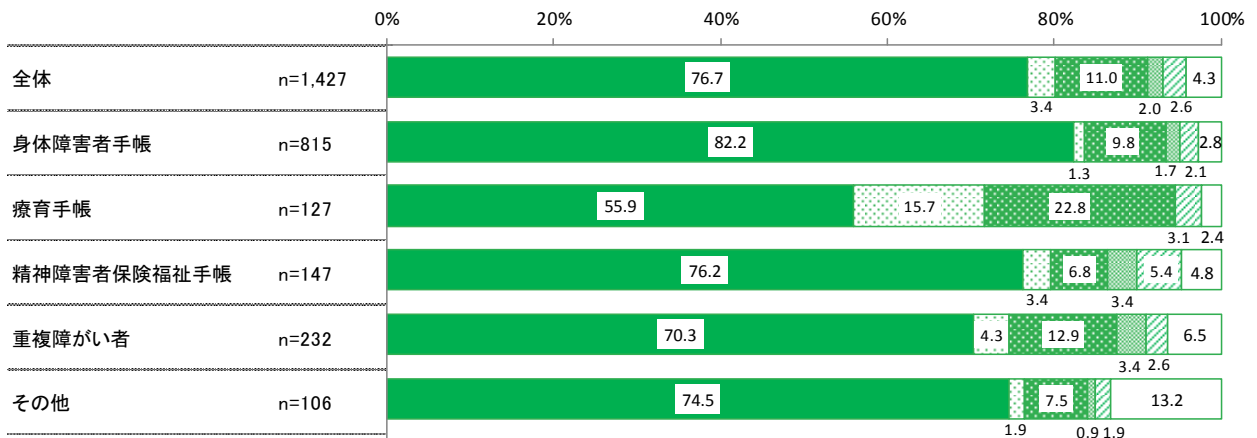


問 21 将来住みたい、暮らしたいと思う生活の場はどれですか。(〇は1つだけ)

将来住みたい、暮らしたい生活の場については、「自宅」が76.7%と最も多くなっています。

障がい別でみると、いずれの障がいにおいても「自宅」が約6～8割を占めています。

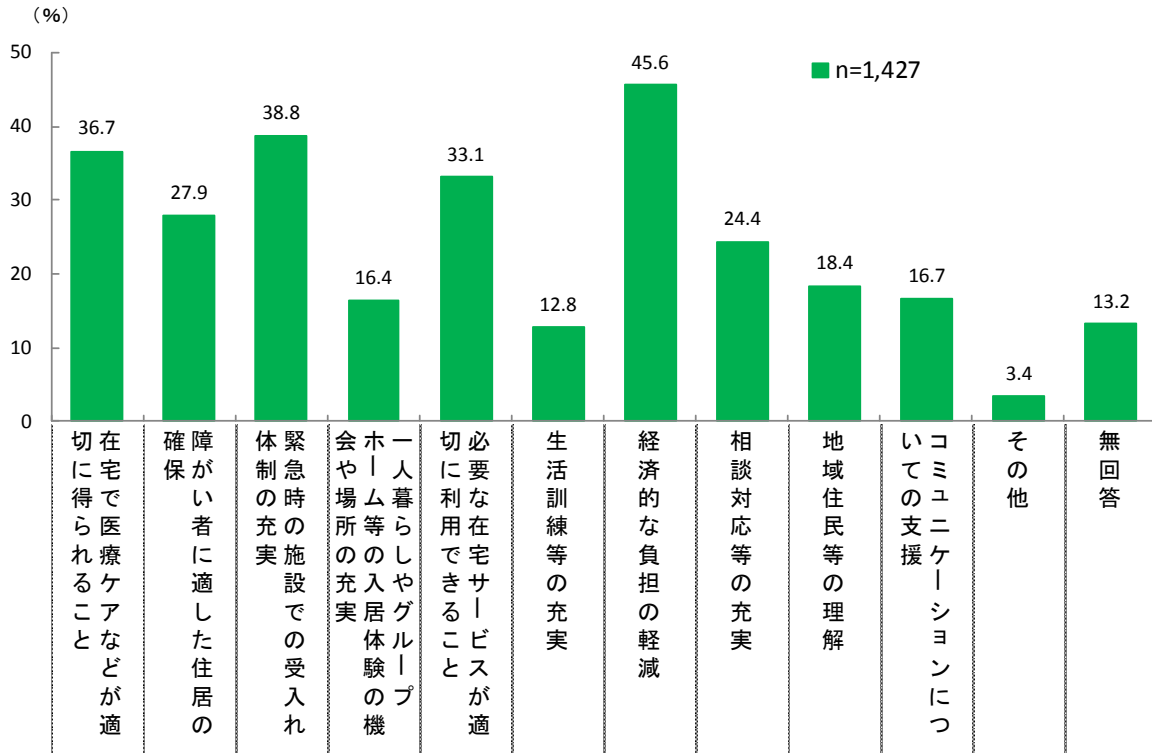
- 自宅
- グループホーム
- 福祉施設(障害者支援施設、高齢者支援施設)
- 病院
- その他
- 無回答



問22 地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

地域で生活するための支援については、「経済的な負担の軽減」が45.6%と最も多く、次いで、「緊急時の施設での受入れ体制の充実」が38.8%、「在宅で医療ケアなどが適切に得られること」が36.7%、「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が33.1%、「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が33.1%、等となっています。



(%)

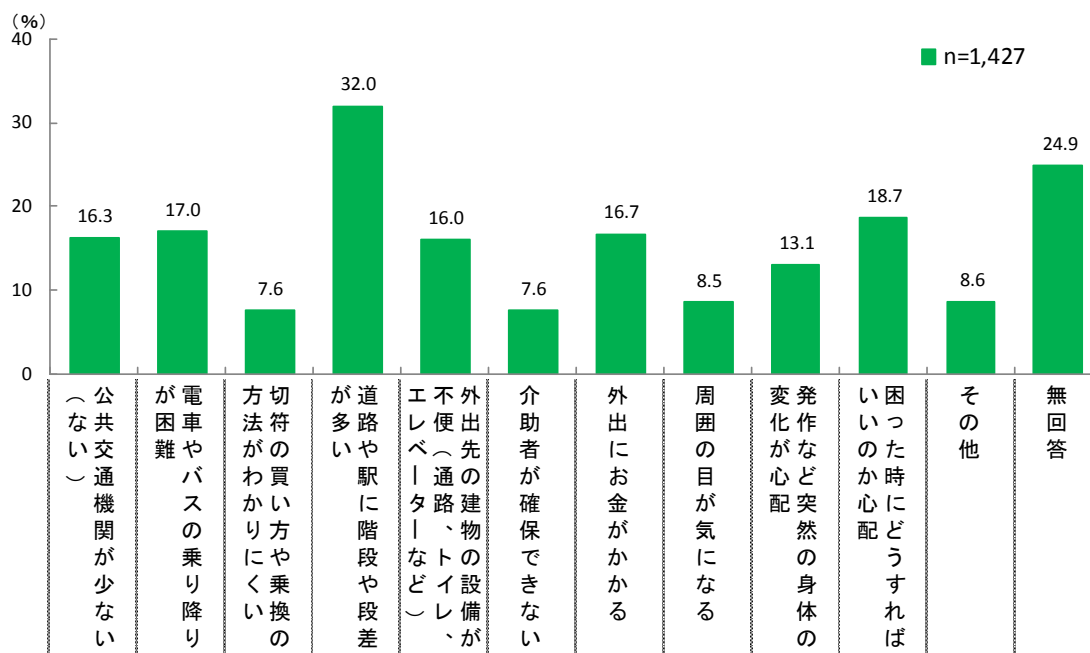
	問22 地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。						
	全体	在宅で医療ケアなどが適切に得られること	障がい者に適した住居の確保	緊急時の施設での受入れ体制の充実	ひとり暮らしやグループホーム等の入居体験の機会や場所の充実	必要な在宅サービスが適切に利用できること	生活訓練等の充実
全体	1,427	36.7	27.9	38.8	16.4	33.1	12.8
身体障害者手帳	815	42.1	24.2	39.8	10.8	35.2	8.6
療育手帳	127	18.9	51.2	48.8	47.2	30.7	30.7
精神障害者保健福祉手帳	147	29.3	33.3	25.9	21.1	23.1	19.0
重複障がい者	232	36.2	31.9	43.1	18.1	37.1	13.8
その他	106	28.3	12.3	27.4	12.3	25.5	12.3

	全体	経済的な負担の軽減	相談対応等の充実	地域住民等の理解	コミュニケーションについての支援	その他	無回答
全体	1,427	45.6	24.4	18.4	16.7	3.4	13.2
身体障害者手帳	815	42.8	18.9	13.5	12.4	2.7	14.1
療育手帳	127	52.8	48.0	45.7	35.4	4.7	7.1
精神障害者保健福祉手帳	147	59.2	39.5	25.9	27.2	4.8	12.9
重複障がい者	232	44.0	20.7	16.4	12.1	4.7	12.1
その他	106	43.4	25.5	17.0	23.6	1.9	16.0

4 日中活動や就労について

問27 外出する時に困ることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

外出する時に困ることについては、「道路や駅に階段や段差が多い」が32.0%と最も多く、次いで「困った時にどうすればいいのか心配」が18.7%、「電車やバスの乗り降りが困難」が17.0%、「外出にお金がかかる」が16.7%等となっています。



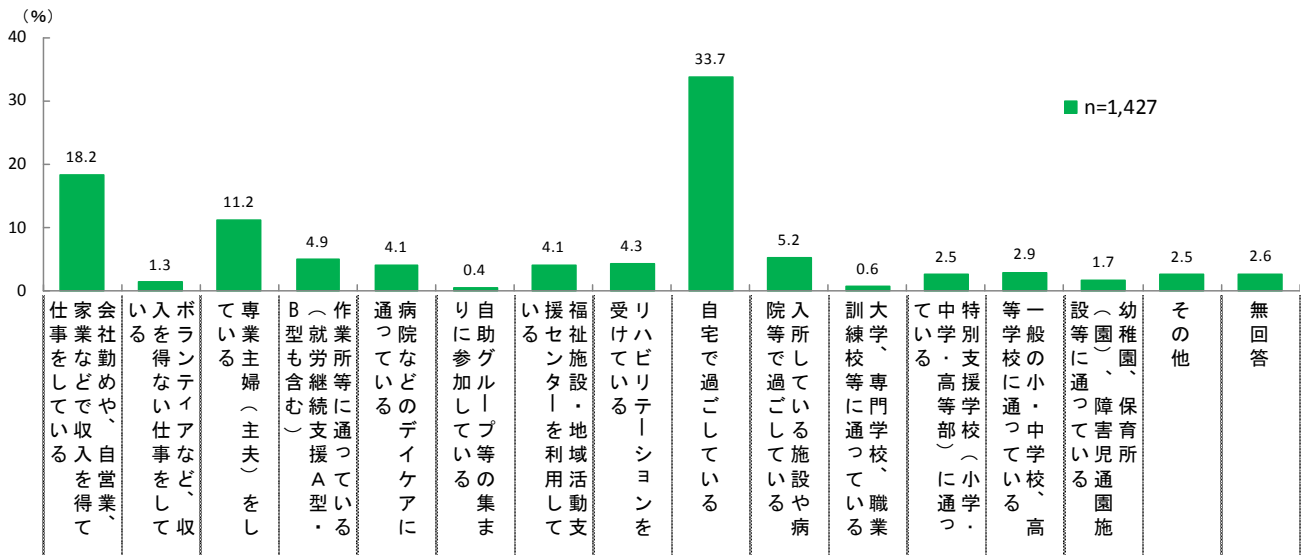
(%)

	調査数	公共交通機関が少ない(ない)	電車やバスの乗り降りが困難	切符の買い方や乗換の方法がわかりにくい	道路や駅に階段や段差が多い	外出先の建物の設備が不便(通路、トイレ、エレベーターなど)	介助者が確保できない
全体	1,427	16.3	17.0	7.6	32.0	16.0	7.6
身体障害者手帳	815	16.6	18.4	5.3	38.5	18.4	6.9
療育手帳	127	14.2	7.1	23.6	10.2	5.5	7.9
精神障害者保健福祉手帳	147	19.0	8.8	8.8	13.6	5.4	5.4
重複障がい者	232	15.5	24.6	7.8	35.8	22.4	12.5
その他	106	15.1	12.3	4.7	24.5	11.3	4.7

	調査数	外出にお金がかかる	周囲の目が気になる	発作など突然の身体の変化が心配	困った時にどうすればいいのか心配	その他	無回答
全体	1,427	16.7	8.5	13.1	18.7	8.6	24.9
身体障害者手帳	815	15.1	4.0	12.5	13.0	8.0	27.1
療育手帳	127	15.0	20.5	6.3	42.5	7.1	21.3
精神障害者保健福祉手帳	147	31.3	26.5	17.0	19.7	12.2	21.8
重複障がい者	232	14.7	6.5	17.2	21.6	9.9	19.8
その他	106	16.0	7.5	11.3	26.4	7.5	28.3

問28 現在、あなたは平日の日中を主にどのように過ごしていることが多いですか。
(〇は1つだけ)

平日の主な過ごし方については、「自宅で過ごしている」が33.7%と最も多く、次いで「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」が18.2%、「専業主婦（主夫）をしている」が11.2%等となっています。



(%)

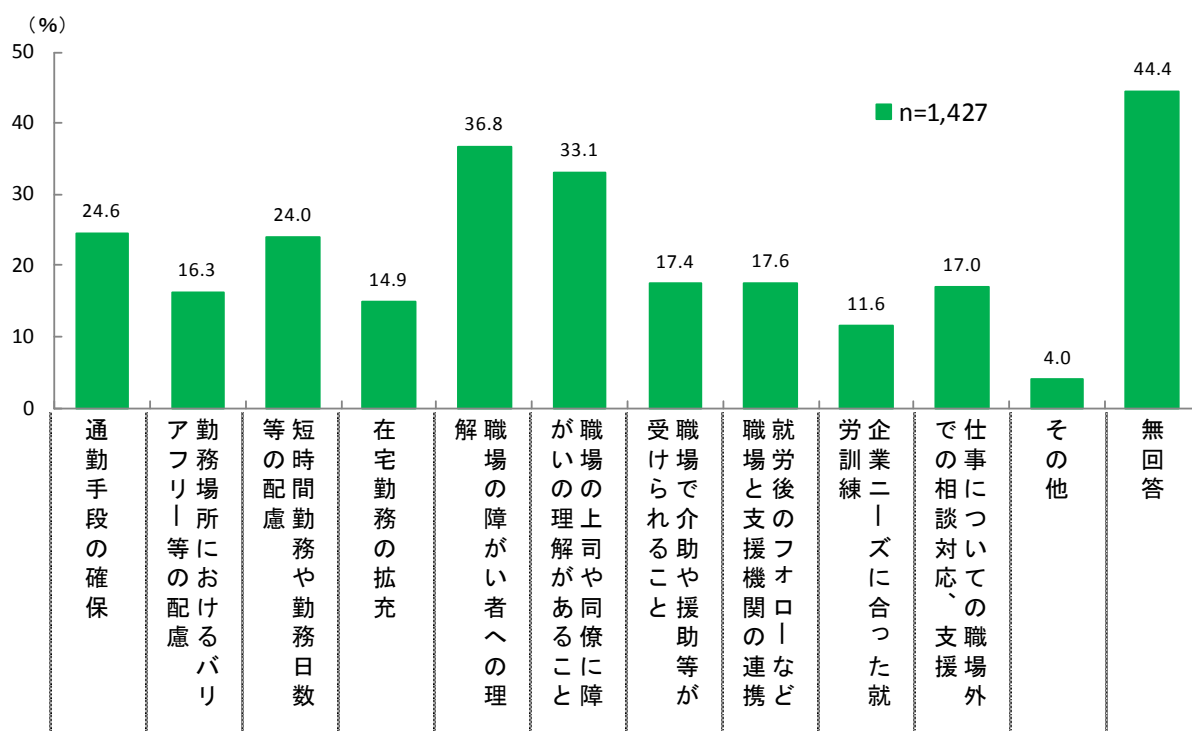
	調査数	問28 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。					
		会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている	ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている	専業主婦(主夫)をしている	作業所等に通っている(就労継続支援A型・B型も含む)	病院などのデイケアに通っている	自助グループ等の集まりに参加している
全体	1,427	18.2	1.3	11.2	4.9	4.1	0.4
身体障害者手帳	815	19.4	1.3	13.5	0.5	4.4	0.7
療育手帳	127	18.1	0.8	1.6	26.8	0.8	0.0
精神障害者保健福祉手帳	147	25.2	1.4	10.2	6.8	4.8	0.0
重複障がい者	232	12.5	1.3	12.1	8.2	2.2	0.0
その他	106	12.3	0.9	4.7	2.8	8.5	0.0

	調査数	福祉施設・地域活動支援センターを利用している	リハビリテーションを受けている	自宅で過ごしている	入所している施設や病院等で過ごしている	大学、専門学校、職業訓練学校等に通っている	特別支援学校(小学・中学・高等部)に通っている
全体	1,427	4.1	4.3	33.7	5.2	0.6	2.5
身体障害者手帳	815	2.8	5.8	39.5	5.6	0.1	0.2
療育手帳	127	5.5	0.0	4.7	0.8	1.6	17.3
精神障害者保健福祉手帳	147	1.4	0.7	36.7	4.8	0.7	0.7
重複障がい者	232	8.6	4.3	31.0	7.8	0.0	3.9
その他	106	6.6	2.8	25.5	1.9	3.8	0.9

	調査数	一般の小・中学校、高等学校に通っている	幼稚園、保育所(園)、障害児通園施設等に通っている	その他	無回答
全体	1,427	2.9	1.7	2.5	2.6
身体障害者手帳	815	0.6	0.1	2.7	2.6
療育手帳	127	9.4	11.0	0.0	1.6
精神障害者保健福祉手帳	147	2.7	0.0	1.4	2.7
重複障がい者	232	0.9	0.9	4.3	2.2
その他	106	17.0	6.6	0.9	4.7

問32 あなたは障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

障がい者の就労支援として、どのようなことが必要かとたずねたところ、「職場の障がい者への理解」が36.8%と最も多く、次いで「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が33.1%、「通勤手段の確保」が24.6%、「短時間勤務や勤務日数などの配慮」が24.0%等となっています。



(%)

	調査数	問32 あなたは障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。					
		通勤手段の確保	勤務場所におけるバリアフリー等の配慮	短時間勤務や勤務日数等の配慮	在宅勤務の拡充	職場の障がい者への理解	職場の上司や同僚に障がいの理解があること
全体	1,427	24.6	16.3	24.0	14.9	36.8	33.1
身体障害者手帳	815	22.2	19.6	21.7	14.4	32.1	28.3
療育手帳	127	44.1	8.7	26.8	12.6	66.9	59.1
精神障害者保健福祉手帳	147	34.7	12.9	46.3	25.9	51.0	50.3
重複障がい者	232	18.1	14.7	19.0	12.5	28.0	25.4
その他	106	19.8	7.5	17.9	11.3	35.8	31.1

	調査数	職場で介助や援助等が受けられること	就労後のフォローなど職場と支援機関の連携	企業ニーズに合った就労訓練	仕事についての職場外での相談対応、支援	その他	無回答
全体	1,427	17.4	17.6	11.6	17.0	4.0	44.4
身体障害者手帳	815	16.3	10.9	8.5	11.9	3.4	50.1
療育手帳	127	39.4	46.5	24.4	34.6	0.8	22.0
精神障害者保健福祉手帳	147	17.0	31.3	22.4	32.7	3.4	24.5
重複障がい者	232	12.5	11.6	8.6	11.2	9.5	50.0
その他	106	10.4	28.3	12.3	26.4	0.9	42.5

5 障害福祉サービスなどの利用について

【現在、障がい福祉サービスを利用されている方にお聞きします。】

問34 サービスの利用で困っていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

サービスの利用で困っていることについては、「特に困っていることはない」が12.3%と最も多くなっています。次いで「サービスに関する情報が少ない、入手しにくい」が7.8%、「サービス利用のための申請や手続きが難しい、面倒」が6.6%、「送迎などで家族の負担が大きい」が4.0%等となっています。



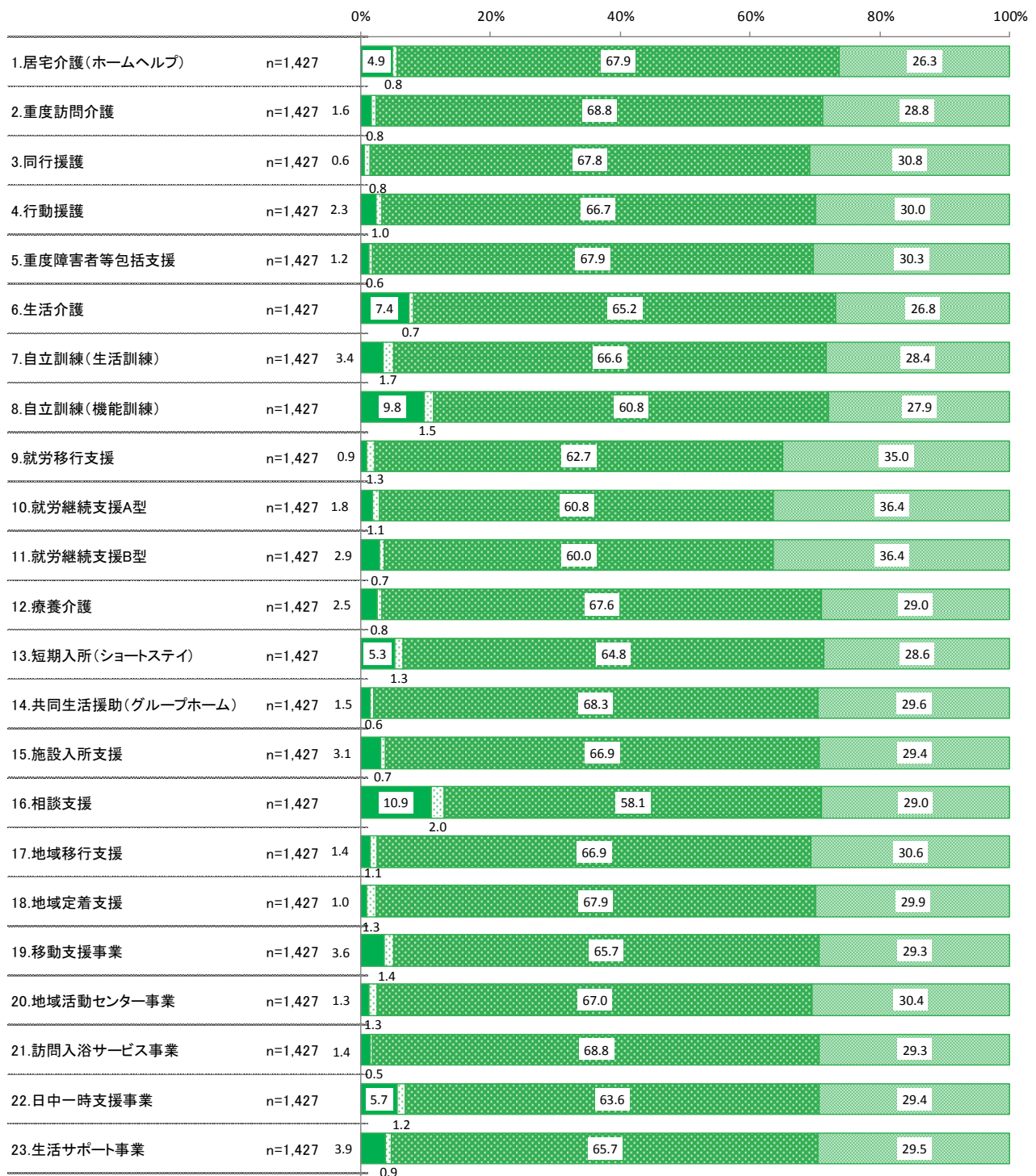
問 37 あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。

①障害福祉サービス等

【サービスの利用状況】

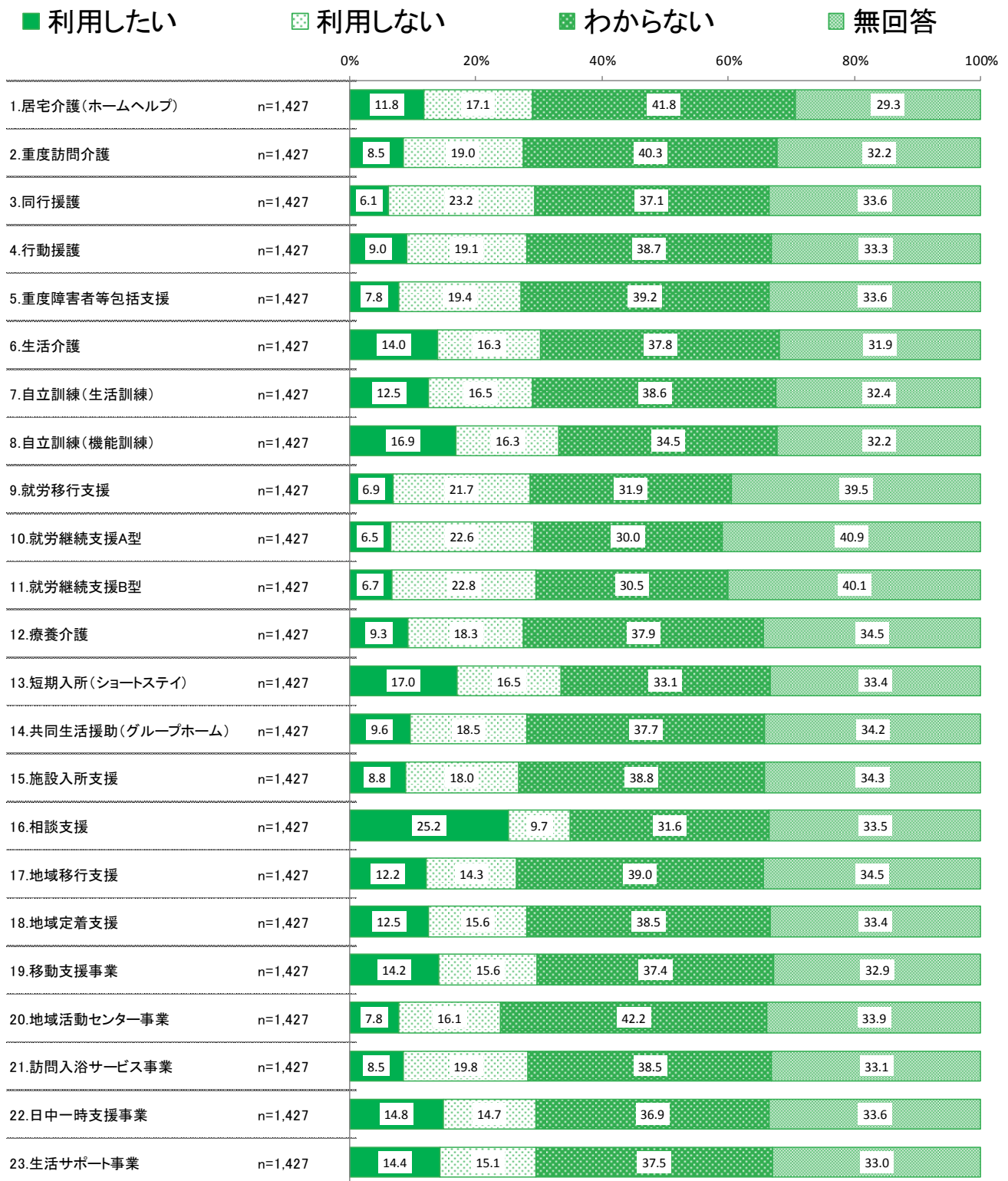
現在、利用しているサービスは、「相談支援」、「自立訓練（機能訓練）」「生活介護」と続いています。利用したいが利用できていない障害福祉サービスについては、「相談支援」、「自立訓練（生活訓練）」、「自立訓練（機能訓練）」と続いています。

■ 利用している ■ 利用したいが利用できていない
 ■ 利用していない ■ 無回答



【サービスの利用意向】

今後、利用したい障害福祉サービスについては、「相談支援」が 25.2%と最も多く、次いで「短期入所（ショートステイ）」が 17.0%、「自立訓練（機能訓練）」が 16.9%、「日中一時支援事業」が 14.8%、「生活サポート事業」が 14.4%となっています。

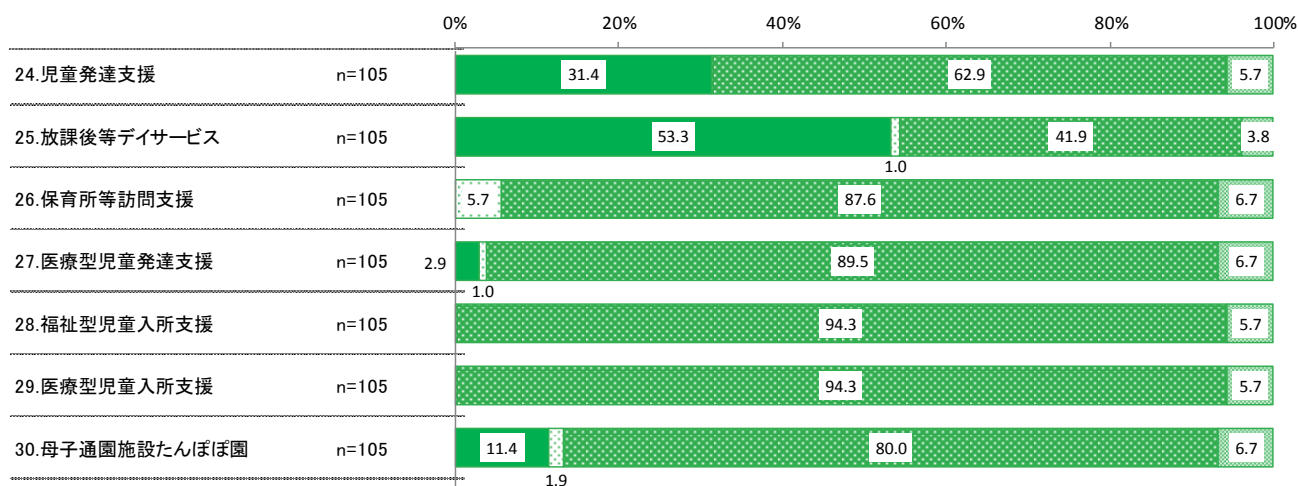


②児童に対する障害福祉サービス

【サービスの利用状況】

現在、利用している障害福祉サービスについては、「放課後等デイサービス」が53.3%と最も多く、次いで「児童発達支援」が31.4%、「母子通園施設たんぽぽ園」が11.4%となっています。

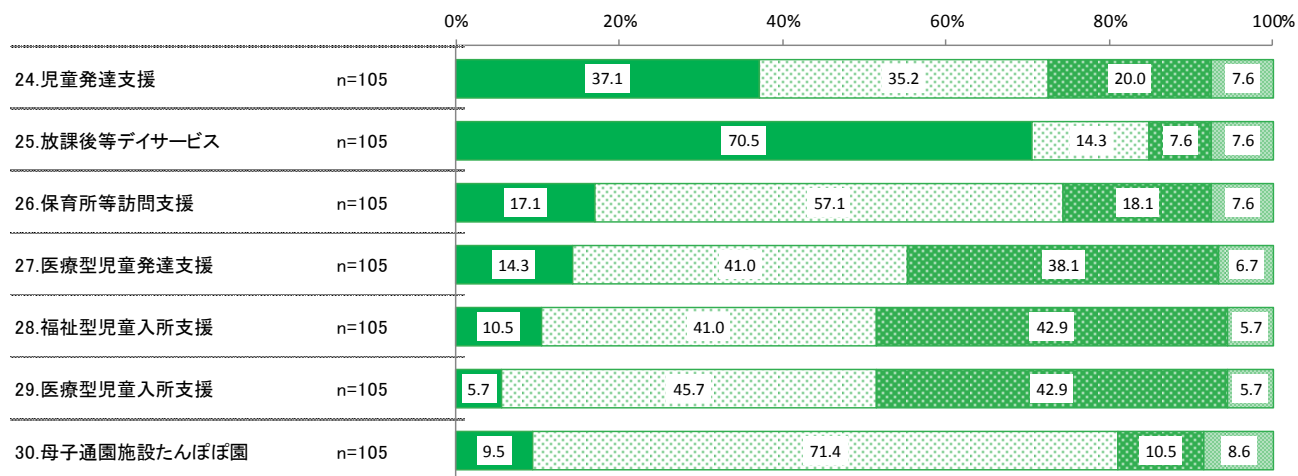
■ 利用している ■ 利用したいが利用できていない
■ 利用していない ■ 無回答



【サービスの利用意向】

今後、利用したい障害福祉サービスについては、「放課後等デイサービス」が70.5%と最も多く、次いで「児童発達支援」が37.1%、「保育所等訪問支援」が17.1%となっています。

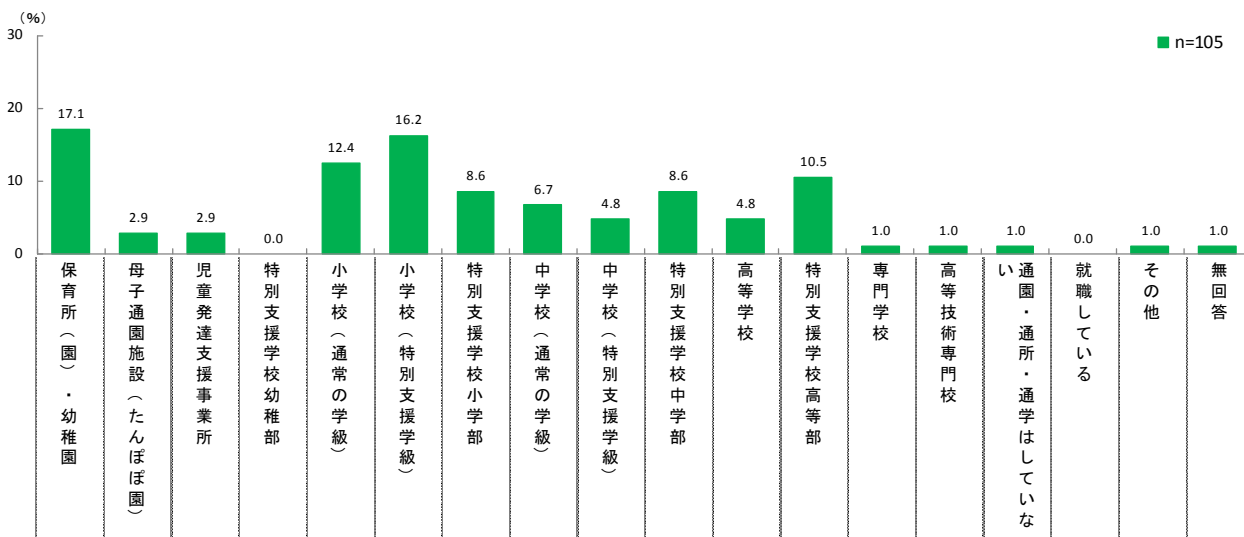
■ 利用したい ■ 利用しない ■ わからない ■ 無回答



6 教育について

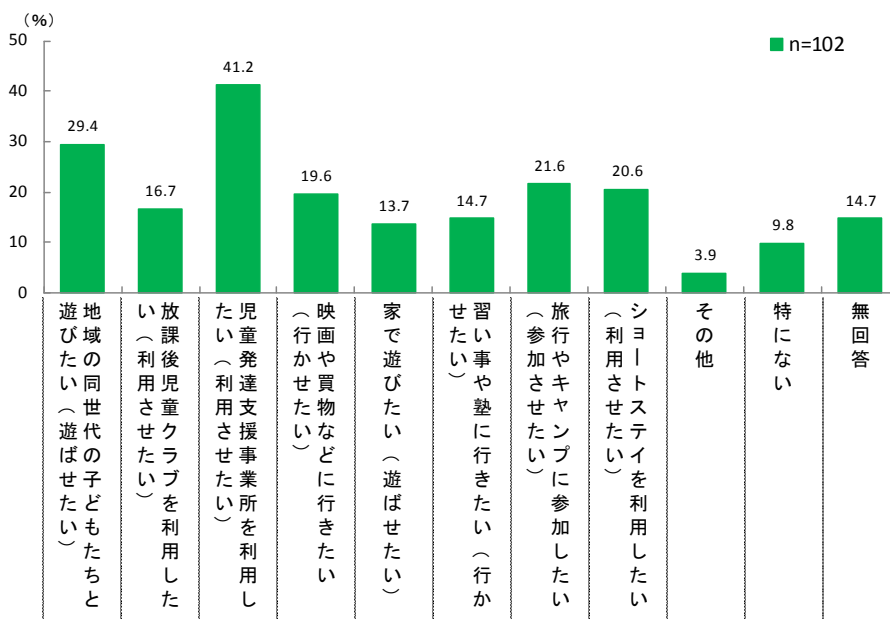
問38 あなたは現在、通園・通所・通学していますか。(〇は1つだけ)

18歳未満の方に現在、通園・通所・通学しているかたずねたところ、「保育所(園)・幼稚園」が17.1%と最も多くなっています。次いで「小学校(特別支援学級)」が16.2%、「小学校(通常の学級)」が12.4%、「特別支援学校高等部」が10.5%、「特別支援学校小学部」、「特別支援学校中学部」が8.6%等となっています。



問39 あなたは長期休暇中や放課後の活動について、どのような希望がありますか。(〇は3つまで)

18歳未満の通園・通所・通学している方で長期休暇中や放課後の活動についての希望をたずねたところ、「児童発達支援事業所を利用したい(利用させたい)」が41.2%と最も多くなっています。次いで「地域の同世代の子どもたちと遊びたい(遊ばせたい)」が29.4%、「旅行やキャンプに参加したい(参加させたい)」が21.6%、「ショートステイを利用したい(利用させたい)」が20.6%、「映画や買物などに行きたい(行かせたい)」が19.6%等となっています。

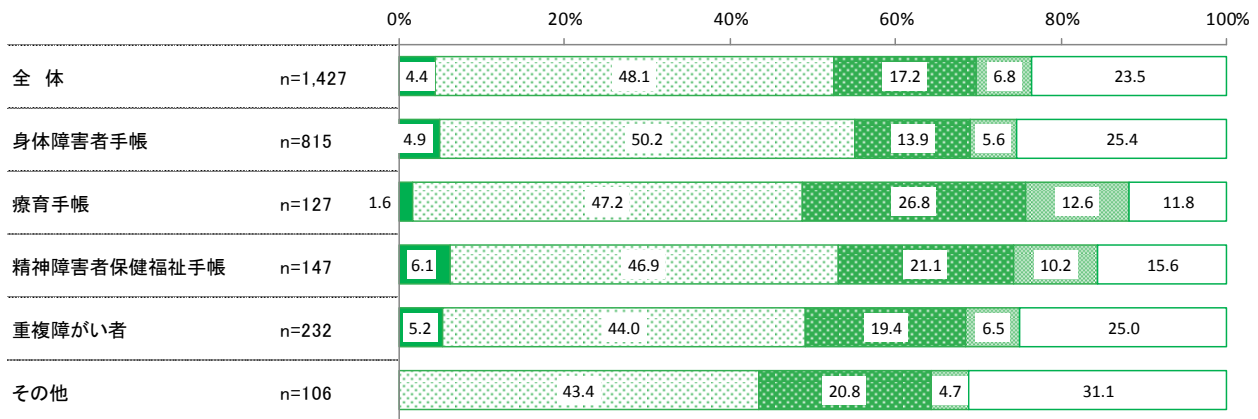


7 暮らしやすさや将来の生活について

問42 あなたは、清須市は障がい者にとって暮らしやすいまちだと思いますか。
(〇は1つだけ)

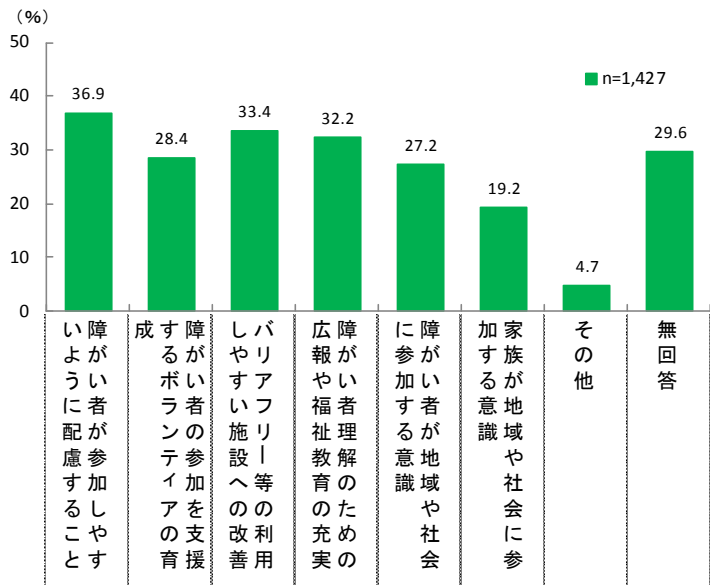
障がい者にとって暮らしやすいまちだと思うのかたずねたところ、「暮らしやすいまちだと思う」が48.1%と最も多く、次いで「あまり暮らしやすいまちだとは思わない」が17.2%、「暮らしやすいまちだとは思わない」が6.8%、「とても暮らしやすいまちだと思う」が4.4%となっています。

- とても暮らしやすいまちだと思う
- 暮らしやすいまちだと思う
- あまり暮らしやすいまちだとは思わない
- 暮らしやすいまちだとは思わない
- 無回答



問43 障がい者が地域や社会に参加できるためには、どのようなことが必要だと考えますか。（あてはまるものすべてに○）

障がい者が地域や社会に参加できるためには、どのようなことが必要かたずねたところ、「障がい者が参加しやすいように配慮すること」が36.9%と最も多く、次いで「バリアフリー等の利用しやすい施設への改善」が33.4%、「障がい者理解のための広報や福祉教育の充実」が32.2%、「障がい者の参加を支援するボランティアの育成」が28.4%、「障がい者が地域や社会に参加する意識」が27.2%となっています。

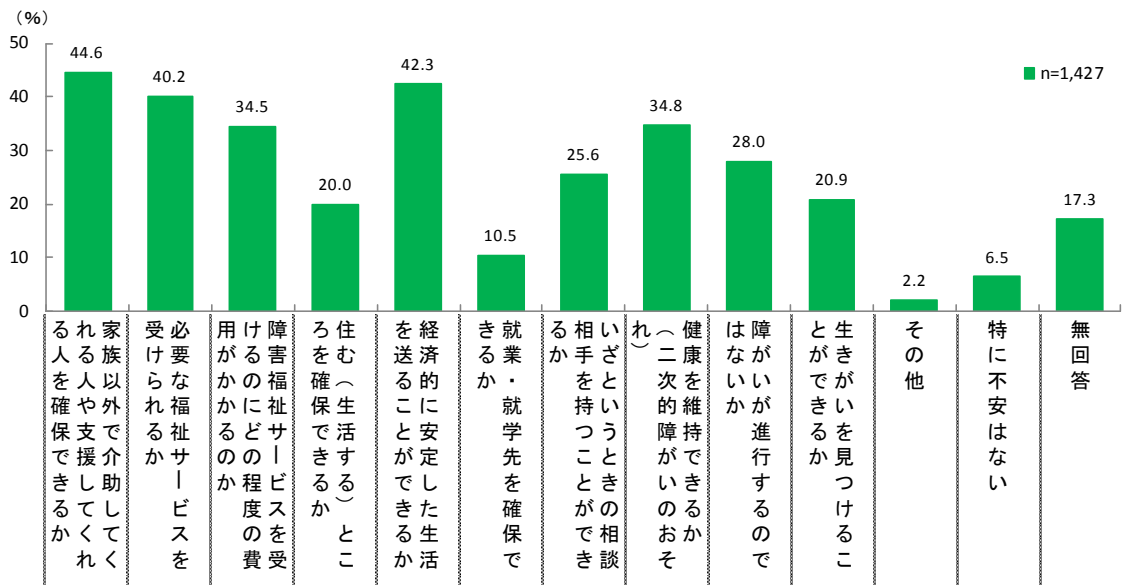


	調査数	問43 障がい者が地域や社会に参加できるためには、 どのようなことが必要だと考えますか。			
		障がい者が参加しやすいように配慮すること	障がい者の参加を支援するボランティアの育成	バリアフリー等の利用しやすい施設への改善	障がい者理解のための広報や福祉教育の充実
全体	1,427	36.9	28.4	33.4	32.2
身体障害者手帳	815	34.2	26.0	37.3	26.1
療育手帳	127	58.3	53.5	24.4	60.6
精神障害者保健福祉手帳	147	47.6	27.9	25.9	43.5
重複障がい者	232	31.9	28.0	33.6	32.3
その他	106	27.4	17.9	23.6	28.3

	調査数	障がい者が地域や社会に参加する意識	家族が地域や社会に参加する意識	その他	無回答
全体	1,427	27.2	19.2	4.7	29.6
身体障害者手帳	815	25.0	16.8	3.4	32.6
療育手帳	127	44.1	37.8	7.1	7.9
精神障害者保健福祉手帳	147	32.7	18.4	6.8	23.1
重複障がい者	232	22.8	16.8	6.5	31.9
その他	106	25.5	21.7	4.7	35.8

問44 将来の生活に対する不安についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

将来の生活に対する不安についてたずねたところ、「家族以外で介助してくれる人や支援してくれる人を確保できるか」が44.6%と最も多く、次いで「経済的に安定した生活を送ることができるか」が42.3%、「必要な福祉サービスを受けられるか」が40.2%、「健康を維持できるか（二次的障がいのおそれ）」が34.8%、「障害福祉サービスを受けるのにどの程度の費用がかかるのか」が34.5%となっています。



障がい別でみると、全体との差が大きいものは、療育手帳では「家族以外で介助してくれる人や支援してくれる人を確保できるか」、「必要な福祉サービスを受けられるか」、「住む（生活する）ところを確保できるか」、「いざというときの相談相手を持つことができるか」、「生きがいを見つけることができるか」となっています。精神障害者保健福祉手帳では「生きがいを見つけることができるか」となっています。

(%)

	調査数	問44 将来の生活に対する不安についてお答えください。						
		家族以外で介助してくれる人や支援してくれる人を確保できるか	必要な福祉サービスを受けられるか	障害福祉サービスを受けるのにどの程度の費用がかかるのか	住む（生活する）ところを確保できるか	経済的に安定した生活を送ることができるか	就業・就学先を確保できるか	いざというときの相談相手を持つことができるか
全体	1,427	44.6	40.2	34.5	20.0	42.3	10.5	25.6
身体障害者手帳	815	39.5	37.2	35.1	12.9	35.0	2.5	19.0
療育手帳	127	69.3	58.3	44.1	50.4	58.3	36.2	44.9
精神障害者保健福祉手帳	147	50.3	45.6	38.8	35.4	69.4	29.3	41.5
重複障がい者	232	48.3	42.2	30.6	22.0	39.7	4.7	25.0
その他	106	38.7	29.2	21.7	13.2	48.1	28.3	32.1

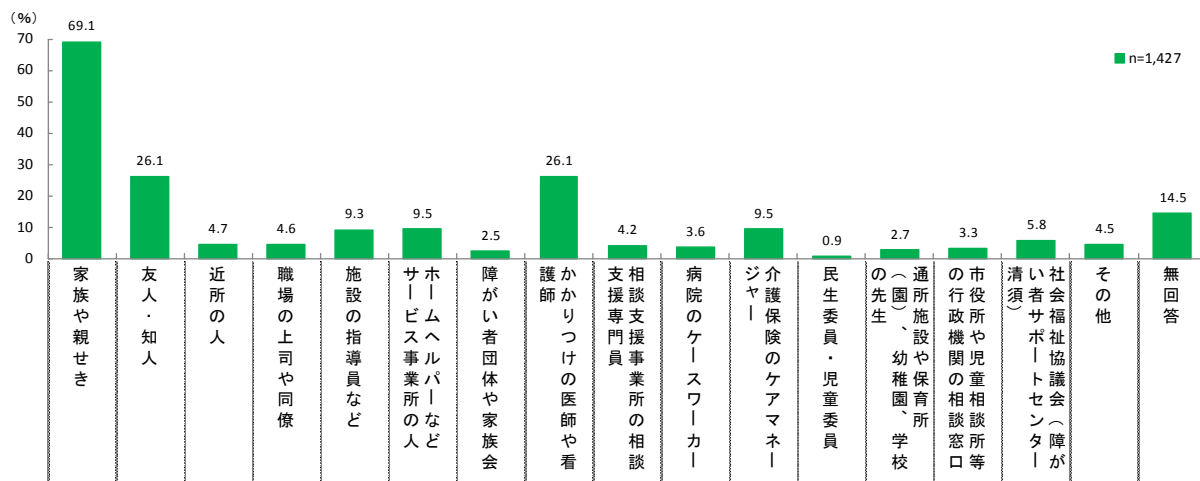
	調査数	健康を維持できるか（二次的障がいのおそれ）	障がい進行するのではないかと心配しているか	生きがいを見つけることができるか	その他	特に不安はない	無回答
全体	1,427	34.8	28.0	20.9	2.2	6.5	17.3
身体障害者手帳	815	34.1	28.0	14.1	1.7	9.0	19.9
療育手帳	127	33.1	18.9	39.4	5.5	4.7	3.9
精神障害者保健福祉手帳	147	46.3	34.0	40.1	2.7	1.4	9.5
重複障がい者	232	32.8	34.9	19.4	1.7	3.9	18.1
その他	106	30.2	15.1	27.4	1.9	2.8	22.6

8 相談相手・情報収集について

問45 あなたは普段、悩みや困ったことを誰に相談することが多いですか。

(あてはまるものすべてに○)

普段、悩みや困ったことをどなたに相談するかについては、「家族や親せき」が69.1%と最も多く、次いで「友人・知人」、「かかりつけの医師や看護師」が26.1%、「ホームヘルパーなどサービス事業所の人」、「介護保険のケアマネージャー」が9.5%となっています。



障がい別でみると、全体との差が大きいものは、療育手帳では「施設の指導員など」、「障がい者団体や家族会」、「相談支援事業所の相談支援専門員」、「通所施設や保育所(園)、幼稚園、学校の先生」、「社会福祉協議会（障がい者サポートセンター清須）」となっています。精神障害者保健福祉手帳では「かかりつけの医師や看護師」、「病院のケースワーカー」となっています。

(%)

	調査数	問45 あなたは普段、悩みや困ったことを誰に相談することが多いですか。					
		家族や親せき	友人・知人	近所の人	職場の上司や同僚	施設の指導員など	ホームヘルパーなどサービス事業所の人
全体	1,427	69.1	26.1	4.7	4.6	9.3	9.5
身体障害者手帳	815	69.8	27.4	5.8	3.4	6.6	7.2
療育手帳	127	76.4	26.0	1.6	11.8	22.8	19.7
精神障害者保健福祉手帳	147	69.4	25.9	4.8	8.2	8.2	8.2
重複障がい者	232	64.7	21.1	3.9	3.4	14.2	12.9
その他	106	64.2	27.4	1.9	2.8	3.8	9.4

	調査数	障がい者団体や家族会	かかりつけの医師や看護師	相談支援事業所の相談支援専門員	病院のケースワーカー	介護保険のケアマネジャー	民生委員・児童委員
全体	1,427	2.5	26.1	4.2	3.6	9.5	0.9
身体障害者手帳	815	1.2	24.0	0.9	1.8	11.8	0.9
療育手帳	127	10.2	20.5	23.6	1.6	0.8	0.0
精神障害者保健福祉手帳	147	2.0	42.2	6.8	11.6	4.1	1.4
重複障がい者	232	3.0	29.3	3.9	6.0	11.2	1.7
その他	106	1.9	19.8	3.8	3.8	6.6	0.0

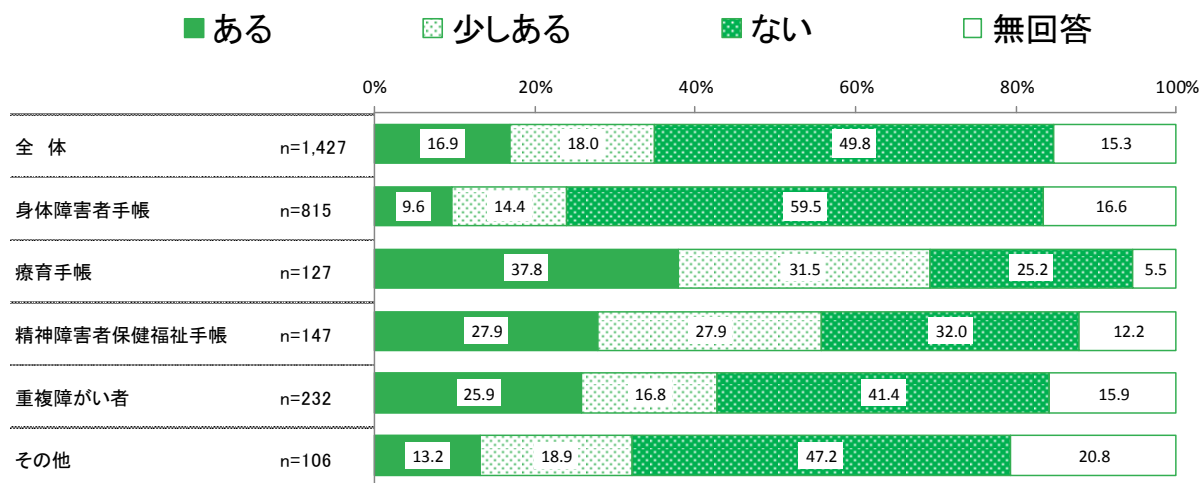
	調査数	通所施設や保育所(園)、幼稚園、学校の先生	市役所や児童相談所等の行政機関の相談窓口	社会福祉協議会(障がい者サポートセンター清須)	その他	無回答
全体	1,427	2.7	3.3	5.8	4.5	14.5
身体障害者手帳	815	0.5	2.7	3.6	4.3	16.1
療育手帳	127	15.0	3.1	18.9	3.9	6.3
精神障害者保健福祉手帳	147	1.4	4.1	7.5	7.5	10.9
重複障がい者	232	1.7	4.3	6.0	4.3	14.2
その他	106	9.4	4.7	4.7	2.8	17.9

9 権利擁護・障がい者差別解消について

問51 あなたは障がいがあることで差別や嫌な思いをしたことがありますか。
(〇は1つだけ)

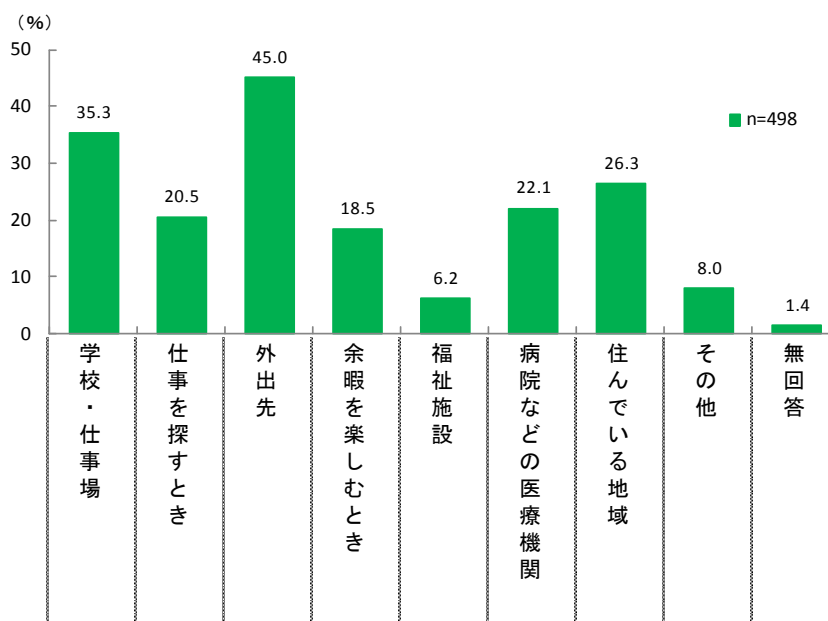
障がいがあることで差別や嫌な思いをしたことがあるかたずねたところ、「ない」が49.8%と最も多く、次いで「少しある」が18.0%、「ある」が16.9%となっています。

障がい別でみると、療育手帳で「ある」が37.8%で多くなっています。精神障害者保健福祉手帳は「ない」が32.0%と多くなっています。



問52 どのような場所で差別や、嫌な思いをしましたか。(あてはまるものすべてに〇)

障がいがあることで差別や嫌な思いをしたことがある方や少しある方に、どのような場所で差別や、嫌な思いをしたかたずねたところ、「外出先」が45.0%と最も多く、次いで「学校・仕事場」が35.3%、「住んでいる地域」が26.3%、「病院などの医療機関」が22.1%、「仕事を探するとき」が20.5%となっています。

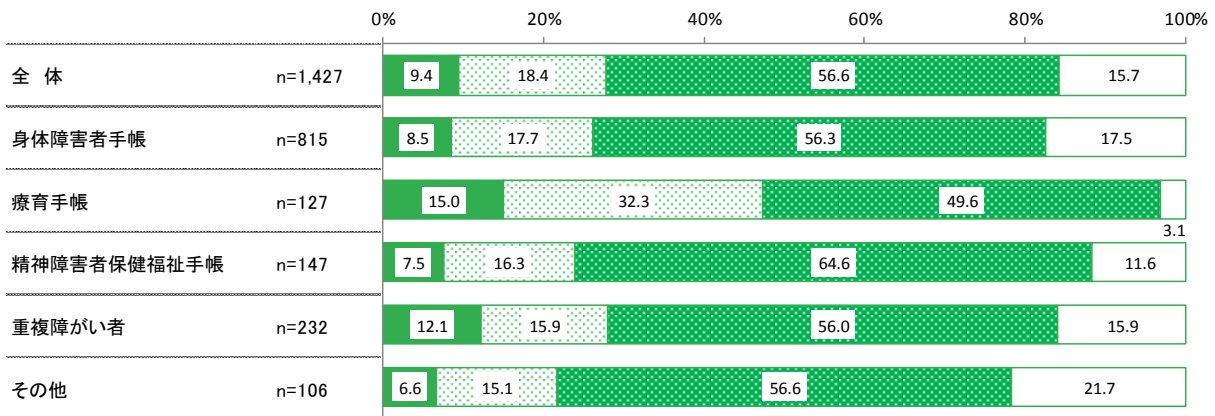


問54 あなたは障害者差別解消法という法律を知っていますか。(〇は1つだけ)

障害者差別解消法という法律を知っているかたずねたところ、「法律の名称も内容も知らない」が56.6%と最も多く、次いで「法律の名称は知っているが、内容は知らない」が18.4%、「法律の名称も内容も知っている」が9.4%となっています。

障がい別でみると、精神障害者保健福祉手帳では全体より、「法律の名称も内容も知らない」が64.6%と多くなっています。

- 法律の名称も内容も知っている
- ▨ 法律の名称は知っているが、内容は知らない
- ▩ 法律の名称も内容も知らない
- 無回答

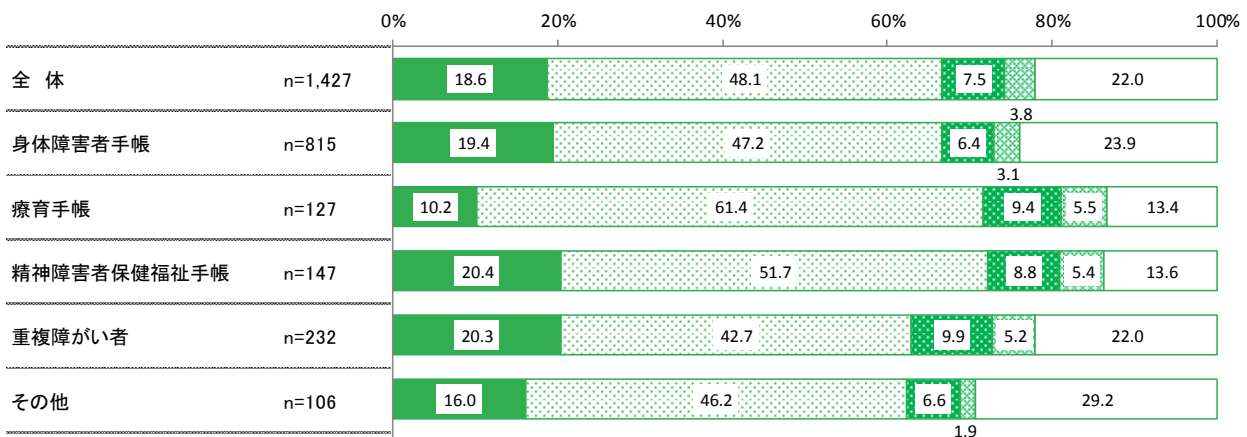


問55 あなたは清須市役所などの市の公共施設の窓口等での対応について、障がい者に対する配慮がされていると思いますか。(〇は1つだけ)

窓口などでの対応についてたずねたところ、「どちらかといえば配慮されている」が48.1%と最も多く、次いで「配慮がされている」が18.6%、「どちらかといえば配慮されていない」が7.5%となっています。

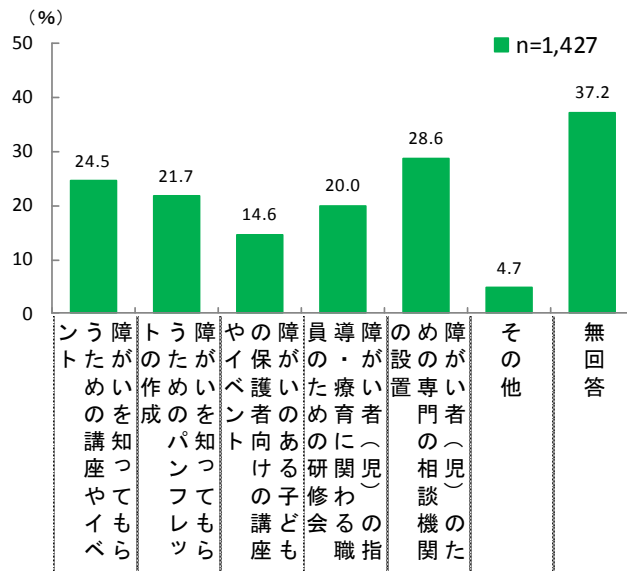
障がい別でみると、いずれの障がいにおいても「どちらかといえば配慮されている」が約4~6割で多く占めています。

- 配慮がされている
- ▨ どちらかといえば配慮されている
- ▩ どちらかといえば配慮されていない
- 無回答



問57 清須市が行う啓発について、どのような取組が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

清須市が行う啓発について、どのような取組が必要かたずねたところ、「障がい者（児）のための専門の相談機関の設置」が28.6%と最も多く、次いで「障がいを知ってもらうための講座やイベント」が24.5%、「障がいを知ってもらうためのパンフレットの作成」が21.7%、「障がい者（児）の指導・療育に関わる職員のための研修会」が20.0%、「障がいのある子どもの保護者向けの講座やイベント」が14.6%となっています。

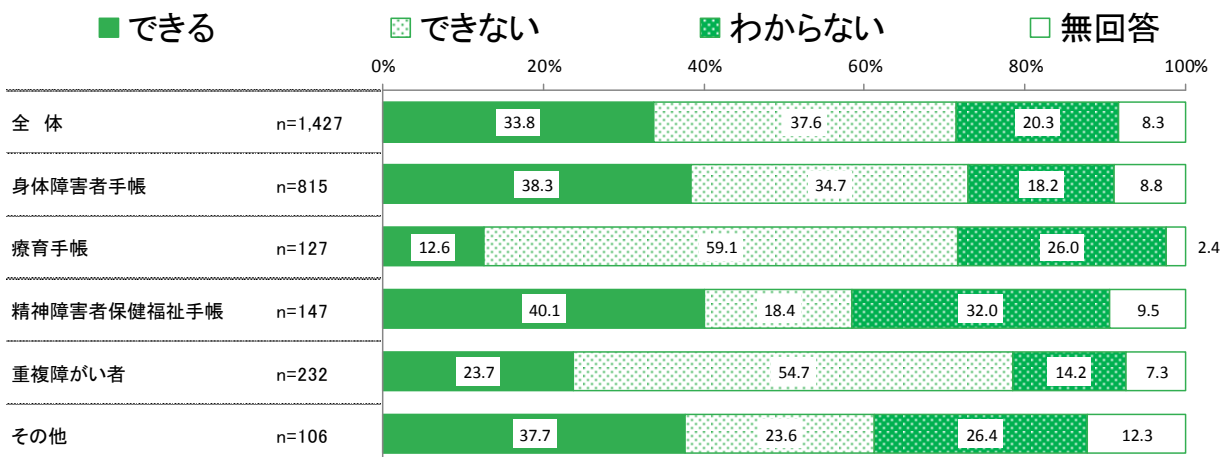


10 災害時の避難などについて

問58 あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。(〇は1つだけ)

災害時に一人で避難できるかたずねたところ、「できない」が37.6%と最も多く、次いで「できる」が33.8%、「わからない」が20.3%となっています

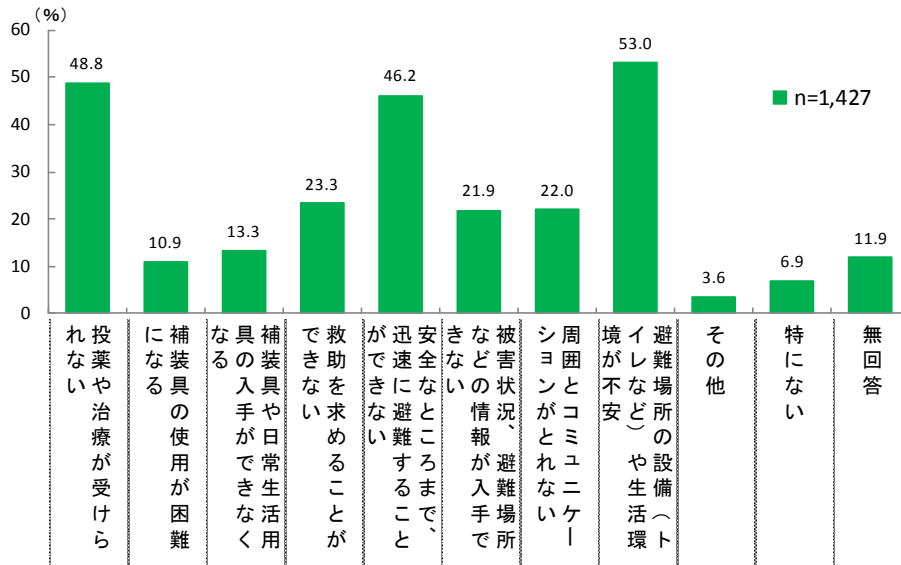
障がい別でみると、身体障害者手帳は「できる」が38.3%で多くなっています。療育手帳は「できない」が59.1%で多くなっています。精神障害者保健福祉手帳は「できる」が40.1%で多くなっています。



問61 火事や地震等の災害時にどういったことに困ると思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

災害時にどういったことに困ると思うかたずねたところ、「避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安」が53.0%と最も多く、次いで「投薬や治療が受けられない」が48.8%、「安全なところまで、迅速に避難することができない」が46.2%、「救助を求めることができない」が23.3%、「周囲とコミュニケーションがとれない」が22.0%等となっています。



障がい別でみると、全体との差が大きいものは、療育手帳では「救助を求めることができない」、「安全なところまで、迅速に避難することができない」、「被害状況、避難場所などの情報が入手できない」、「周囲とコミュニケーションがとれない」、「避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安」となっています。精神障害者保健福祉手帳では「投薬や治療が受けられない」、「周囲とコミュニケーションがとれない」となっています。

(%)

	調査数	問61 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか。						
		投薬や治療が受けられない	補装具の使用が困難になる	補装具や日常生活用具の入手ができなくなる	救助を求めることができない	安全なところまで、迅速に避難することができない	被害状況、避難場所などの情報が入手できない	
全体	1427	48.8	10.9	13.3	23.3	46.2	21.9	
身体障害者手帳	815	49.2	13.9	15.2	16.6	48.7	19.3	
療育手帳	127	21.3	3.9	8.7	57.5	59.1	43.3	
精神障害者保健福祉手帳	147	69.4	2.7	11.6	22.4	27.9	18.4	
重複障がい者	232	52.2	11.2	11.2	28.4	46.1	19.0	
その他	106	42.5	6.6	11.3	23.6	36.8	28.3	

	調査数	周囲とコミュニケーションがとれない	避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安	その他	特にない	無回答
全体	1427	22.0	53.0	3.6	6.9	11.9
身体障害者手帳	815	13.5	52.8	2.1	7.7	11.9
療育手帳	127	59.8	61.4	9.4	5.5	7.1
精神障害者保健福祉手帳	147	34.7	53.1	4.1	4.1	9.5
重複障がい者	232	22.8	53.4	4.7	5.6	14.2
その他	106	22.6	44.3	5.7	9.4	16.0

事業所調査

1 新たなサービスの実施について

問3 貴事業所では、平成30年4月に施行が予定されている以下の新たなサービスについて、実施する意向がありますか。(〇は1つだけ)

「1.検討中である」または「2.実施予定である」を選んだ場合、予定実施年度と実施概要についてもお答えください。

①自立生活援助

自立生活援助を実施する意向については、「実施しない」が64.4%と最も多く、次いで「わからない」が21.2%、「検討中である」が4.8%等となっています。

予定実施年度については、「平成30年度」が4.8%と最も多く、次いで「平成31年度」が1.0%となっています。

実施する意向 (%)

調査数	検討中である	実施予定である	実施しない	わからない	無回答
104	4.8	1.0	64.4	21.2	8.7

予定実施年度 (%)

調査数	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度以降	無回答
104	4.8	1.0	0.0	0.0	94.2

②就労定着支援

就労定着支援を実施する意向については、「実施しない」が56.7%と最も多く、次いで「わからない」が25.0%、「検討中である」が9.6%等となっています。

予定実施年度については、「平成30年度」が7.7%と最も多く、次いで「平成31年度」、「平成32年度」が1.0%となっています。

実施する意向 (%)

調査数	検討中である	実施予定である	実施しない	わからない	無回答
104	9.6	1.9	56.7	25.0	6.7

予定実施年度 (%)

調査数	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度以降	無回答
104	7.7	1.0	1.0	0.0	90.4

③居宅訪問型児童発達支援

居宅訪問型児童発達支援を実施する意向については、「実施しない」が71.2%と最も多く、次いで「わからない」が17.3%、「検討中である」が1.9%となっています。

予定実施年度については、「平成30年度」、「平成31年度」が1.0%となっています。

実施する意向 (%)

調査数	検討中である	実施予定である	実施しない	わからない	無回答
104	1.9	0.0	71.2	17.3	9.6

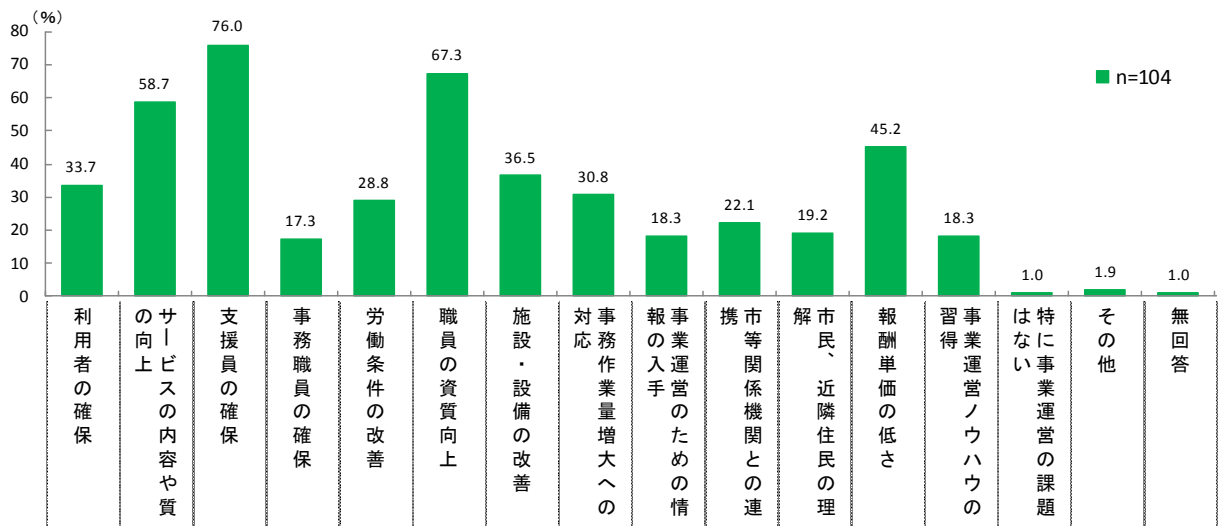
予定実施年度 (%)

調査数	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度以降	無回答
104	1.0	1.0	0.0	0.0	98.1

2 運営上の課題や支援

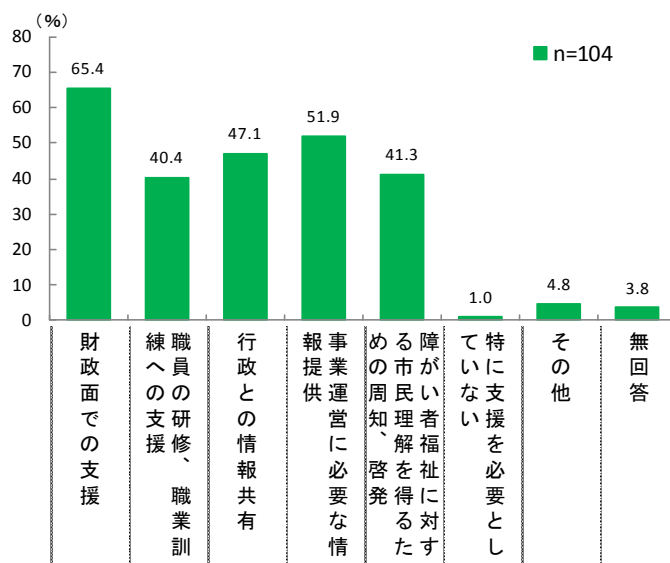
問6 円滑な事業運営のために、改善したいとお考えの運営上の課題は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

改善したいとお考えの運営上の課題についてたずねたところ、「支援員の確保」が76.0%と最も多く、次いで「職員の資質向上」が67.3%、「サービスの内容や質の向上」が58.7%等となっています。



問7 今後の事業運営にあたって、行政等の関係機関からどのような支援があればいいとお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

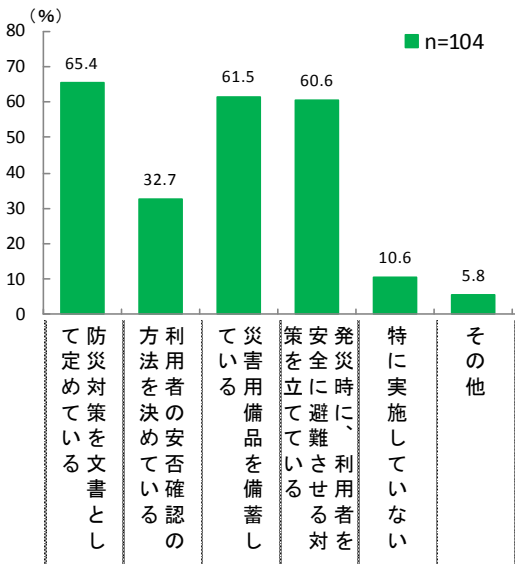
行政等の関係機関からどのような支援があればいいかをたずねたところ、「財政面での支援」が65.4%と最も多く、次いで「事業運営に必要な情報提供」が51.9%、「行政との情報共有」が47.1%等となっています。



3 防災・防犯対策

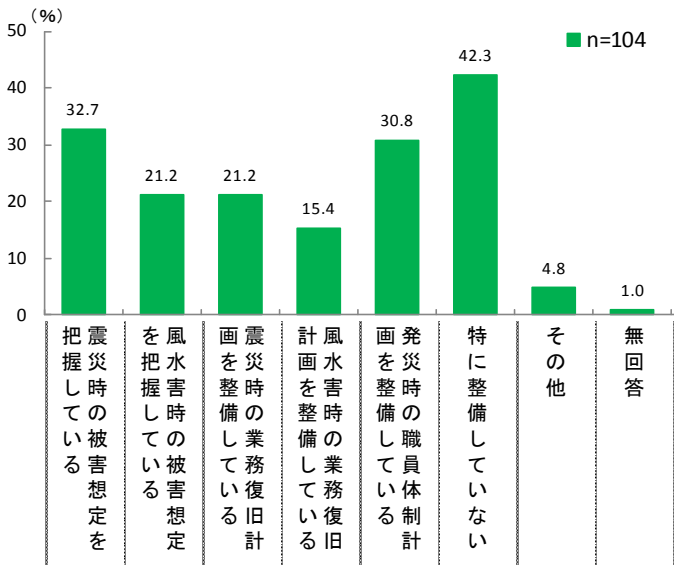
問8 貴事業所では、防災対策を実施していますか。(あてはまるものすべてに○)

防災対策を実施しているかをたずねたところ、「防災対策を文書として定めている」が65.4%と最も多く、次いで「災害用備品を備蓄している」が61.5%、「発災時に、利用者を安全に避難させる対策を立てている」が60.6%等となっています。



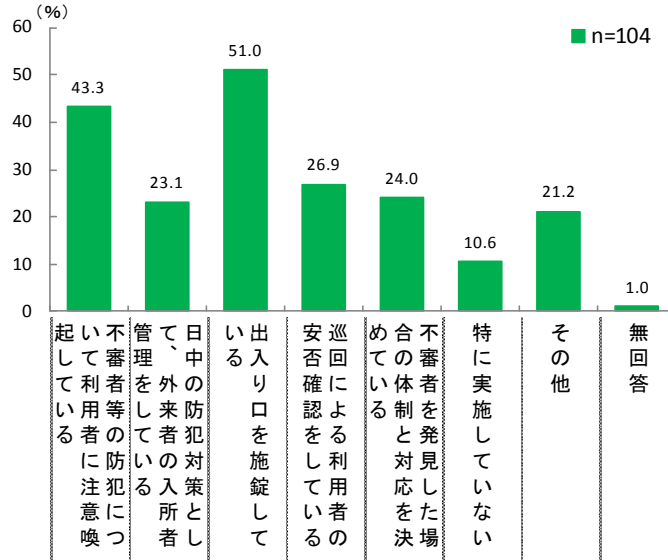
問9 貴事業所では、災害発生時から業務復旧までの計画は整備されていますか。(あてはまるものすべてに○)

災害発生時から業務復旧までの計画は整備されているかをたずねたところ、「特に整備していない」が42.3%と最も多く、次いで「震災時の被害想定を把握している」が32.7%、「発災時の職員体制計画を整備している」が30.8%等となっています。



問10 貴事業所では、防犯対策を実施していますか。(あてはまるものすべてに○)

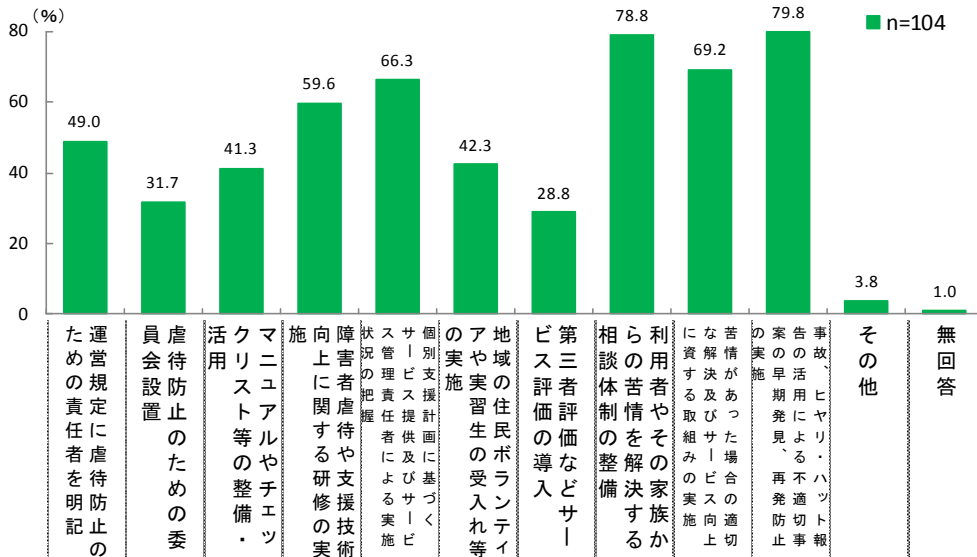
防犯対策を実施しているかをたずねたところ、「出入口を施錠している」が51.0%と最も多く、次いで「不審者等の防犯について利用者に注意喚起している」が43.3%、「巡回による利用者の安否確認をしている」が26.9%等となっています。



4 障害者虐待防止・差別解消

問11 貴事業所では、障害者虐待防止法に基づいた取組を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

障害者虐待防止法に基づいた取組を行っているかをたずねたところ、「事故、ヒヤリ・ハット報告の活用による不適切事案の早期発見、再発防止の実施」が79.8%と最も多く、次いで「利用者やその家族からの苦情を解決する相談体制の整備」が78.8%、「苦情があった場合の適切な解決及びサービス向上に資する取組みの実施」が69.2%等となっています。



問12 貴事業所では、障害者差別解消法に基づいた取組を行っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

障害者差別解消法に基づいた取組を行っているかをたずねたところ、「障害に関する理解や人権意識の向上に向けた職員の研修の実施」が60.6%と最も多く、次いで「障害者及びその家族等からの相談体制の整備」が59.6%、「市町村の相談窓口や関係機関との連携」が37.5%、「相談窓口の設置」が37.5%等となっています。

